

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項	
<b>第3章 家庭・地域、保育所(園)・幼稚園、学校、図書館における子どもの読書活動の推進と環境づくり(計画の柱1)</b>						
1 家庭 ・ 地域	3-1-(1)ブックスタート事業の充実	<p>○子育て支援課 乳児と保護者が絵本を介して向かい合い「暖かくて楽しい言葉のひと時」を持つことを支援する。</p> <p>○図書館 ・絵本を介して赤ちゃんに語りかける子育ての支援。 ・生涯にわたる読書のスタートを切ってもらうこと</p>	<p>○子育て支援課 ・わらべうた・ふれあいあそびの提供 ・絵本の読み聞かせ(絵本の紹介を兼ねて) ・ブックスタートの趣旨・配布物の説明 ・図書館から説明 ・4ヶ月児の成長・発達についての説明及び育児相談 ・メディアと子どもとの良い関係づくりのグループワーク・絵本の引換</p> <p>○図書館 ・家庭での赤ちゃんへの読み聞かせの効果の説明と読み聞かせ ・図書館利用のすすめ ・おはなし会や文庫活動の案内</p>	<p>○子育て支援課 ・保護者には今後の絵本選びの参考にされたり、絵本への関心が深まったり、読み聞かせの楽しさを知ってもらえる機会になっている。 ・他の子育て支援事業への参加への一歩になり、ママ友ができる機会にもなっている。 ・気になる家庭に絵本を持参することで保護者との関係づくりの機会になっている。</p> <p>○図書館 ・ブックスタートの意義が理解され赤ちゃんへの読み聞かせの良さが認められているようだ。 ・赤ちゃん連れで来館する保護者が増えた。 ・赤ちゃんおはなし会が好評である。</p>	<p>○子育て支援課 ・保育所など、集団生活への入所も多くなり、引換率が70%程度と横ばいで全員配布になっていない。(子育て支援課)</p> <p>○図書館 ・0歳時の図書館利用登録率が低い。(1割) ・家庭での読み聞かせ</p>	<p>○子育て支援課 ・今までの取組みにプラスαに母の体のストレッチも取り入れ参加したくなる事業にする。</p> <p>○図書館 ・赤ちゃんおはなし会等での家庭での赤ちゃんへの読み聞かせのすすめ ・赤ちゃん絵本の充実</p>
1 家庭 ・ 地域	3-1-(2)つどいの広場事業の充実	<p>○子育て支援課 ・親子で楽しい時間を過ごす。 ・絵本を通じて親子のコミュニケーションを深める。</p>	<p>○子育て支援課 ・11時より30分程度の「スポットタイム」で体操や歌、ふれ合い遊び、親子あそび、わらべうた、製作、絵本読み聞かせ等の遊びの提供をしてきました。読み聞かせの時間には絵本や紙芝居、ペープサート、パネルシアター、指人形、大型絵本などをしてきました。 ・室内に絵本コーナーを設け、絵本だけでなく、親向けの雑誌や育児書、料理本等を置き自由にみられるようにしている。</p> <p>○図書館 でんでんむしへの団体貸出し</p>	<p>○子育て支援課 ・絵本に興味を持つようになった。 ・絵本読み聞かせを楽しみに来ている。 ・絵本コーナーで絵本を楽しむ親子が増えた。</p>	<p>○子育て支援課 ・0、1歳児の参加が多いので一斉の絵本の読み聞かせが難しい。</p>	<p>○子育て支援課 ・28年度以降は月1回の「絵本タイム」の時間(30分程度)を設け、絵本と触れ合う大切さの話をしたり、年齢に応じた絵本の紹介や図書館、地域文庫の紹介をしていきます。また、実際に絵本を選んでもらいわが子を膝に抱いて、親子での絵本の読み聞かせを楽しむ時間をとっていきます。</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
1 家庭・ 地域	3-1-(3)地域文庫への支援  ○図書館 身近に読書に親しめる場や機会を提供し、地域・家庭に根ざした読書の普及活動を行えるよう支援する。  ○あすなろ文庫 地域の公民館で毎週月曜日本の貸出しやお話会などをしてコミュニケーションし地域に根ざした活動を行っております。  ○コスモス文庫 米多比区を中心に、小野地区の子ども達に市立図書館からの配本や児童館備え付けの図書を活用させ、本に親しむ楽しさや主体的に好みの本を選んだり家で読書したりする習慣を身につけさせるよう支援すること。  ○しらさぎ文庫 子どもと地域のふれあい  ○たけのこ文庫 地域における子どもの読書活動推進	○図書館 ・配本(年3回200冊ずつ) ・大型絵本・パネルシアターなどの貸出し ・図書館や他団体で開催される読書講座や講演会等の情報提供  ○あすなろ文庫 ・毎週月曜日午後3時～5時本の貸出し ・育成会との行事にお話会や人形劇等で参加 ・行政区のイベントや行事にメンバーが参加・協力 ・学校・町などの依頼があれば参加  ○コスモス文庫 ・毎週土曜日午後3時～5時の本の貸出し返却の世話ができた。 ・年三回の市立図書館からの配本を受け、文庫で活用できた。 ・文庫の本を活用する習慣が身に付いている子どもがおり、毎週のように来る子どももいる。 ・児童館の米っこ祭りと連携したお話会を行った。 ・会員以外の子ども達も含めて、お話会工作などを入れたお楽しみ会を実施、文庫のよさを伝える取組みを行った。  ○しらさぎ文庫 7月七夕会、8月お泊り会、12月クリスマス会、9月放生会ステージ発表(群読、ハンドベルなど)	○図書館 継続した支援により地域文庫活動の充実が図られた。  ○あすなろ文庫 ・平成25年度3月「社団法人読書推進運動協議会」伊藤忠記念財団に子どもの本100冊助成いただきました。 ・子ども達の顔が分かります。  ○コスモス文庫 ・毎週土曜日に、本の貸出しを行うことで、人数は多くはないが家読の習慣が身につけている子どもが育っていること。 ・自分で本を選ぶ、ノートに書名を記入するなどを行うことで、子ども達の本へのかわり方が自立してきた。  ○しらさぎ文庫 地域の中の文庫認識度が上がったように思います。  ○たけのこ文庫 地域連携	○図書館 ・スタッフの減少 ・子どものイベントへの参加は多いが、貸出しは少ない  ○あすなろ文庫 ・子ども達の時間と文庫の時間にずれができました。学校から5時に帰ってきたりする。  ○コスモス文庫 ・小学校高学年から本ばなれが始まり、短時間で読めない本には手を出さない子が増えた。 ・文庫活用の良さを伝えることができていない。(学校にも本がある) ・配本の数を増やしてほしいが、本の運搬に苦労している。日を決めて業者にたのむような方法はできないだろうか。  ○しらさぎ文庫 もう少し読もう！人の話を聞く力をつけよう。  ○たけのこ文庫 人材確保	○図書館 支援事業の継続  ○あすなろ文庫 ・地域に根ざした活動を継続しメンバーとも楽しく健康の続くかぎり続けていけたらと思います。  ○コスモス文庫 ・毎週土曜日の活動時間に読み聞かせ会などの行事を増やす。 ・そのため、年間計画を立て、計画的な取組みを行う。 ・簡単な通信やポスターなどを作成し、取組みや行事について知らせようとする。 ・無線放送の活用、「配本のお知らせ」などを行う。 ・本の紹介に力を入れ、子ども達と面白かったところなどを話し合えるようにする。  ○しらさぎ文庫 コツコツと少しずつ継続するだけです。

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項	
1 家庭・地域	<p>3-1-(3)地域文庫への支援</p>	<p>○星の子文庫 絵本や本、季節の行事などを通して地域の子供達、大人達が年齢や立場に関係なく交流できる居場所となることを目指すとともに、昔話やおはなしのすばらしさを子ども達に伝えていくこと。</p> <p>○こじか文庫 読書を通して地域に根ざした居場所づくり</p>	<p>○たけのこ文庫 ・本の貸出しと読み聞かせ～おひざにだっこ・文庫お誕生会、七夕、冬のおたのしみ会・小学生以上読書活動～みみずくらブ、人形劇上演ほか・千鳥小学校朝の読書週間やフェスティバル参加おはなし会、サンコスモおはなし会など・福岡県読書まつりにて子ども人形劇上演11ぴきのねこ ・たけのこ文庫30周年事業～絵本ピックアップ、記念講演会など記念誌発行 ・たけのこ新聞発行・千鳥小チャレンジ・アンビシャス広場担当</p> <p>○星の子文庫 1 地域文庫活動 2 制作活動 3 演劇活動 4 広報活動 5 地域連携活動 6 「文庫の成人式」(古賀市公募型補助金)(ゆめ基金) 7 生涯学習市民のつどい実践報告 8 市「いのち輝くまちこが」実践報告 9 ミーティング、総会 10 研修への参加</p> <p>○こじか文庫 ・月2回本の貸出し、読み聞かせ ・おはなし会スペシャルへ参加 ・分館活動の行事参加(夏まつり、運動会、文化祭、世代間交流もちつき大会) ・育成会との共催(新1年生歓迎会)(お話会とつくてあそぼう) ・平成25年2月ののはな劇団地域公演共催 ・平成27年28年福祉会、成人学級へのお話会</p>	<p>○星の子文庫 年齢、立場、環境を越えて、さまざまな方々と交流し、実施。 本の良さ、楽しさ、皆で活動する意味をつたえることができたこと。 諸団体と連携して活動できたこと。</p> <p>○こじか文庫 地域とのかかわりの充実 育成会といっしょに行う行事は定例化。つくてあそぼうは好評である。</p>	<p>○星の子文庫 ・制作活動の時間と人の確保 ・所有する人形劇等の保管場所の確保</p> <p>○こじか文庫 定例日の本の貸出しの減少 子どもの本離れ</p>	<p>○星の子文庫 5年間の活動内容1～5、9、10の継続</p> <p>○こじか文庫 ・8月6日夏まつり出店 ・9月19日敬老会 10月運動会 ・12月世代間交流もちつき大会 お話会とつくてあそぼう ・平成29年度 成人学級へおはなし会</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項	
1 家庭・地域	3-1-(4)学童保育所への支援	<p>○学童保育所で行なわれる読書活動を支援する。(図書館)</p> <p>○古賀西学童保育所 学童保育(放課後児童健全育成事業) 放課後、長期休み、土曜等の昼間就労などで保護者が不在の留守家庭児童へ生活の場、遊びの場を与える。</p> <p>○花見学童保育所 学童保育(放課後児童健全育成事業) 小学生の放課後、長期休み、土曜日等に昼間就労等でいない留守家庭児童へ生活の場、遊びの場を与える。</p> <p>○千鳥学童保育所 本に親しむ 本を身近なものと感じたり興味を持ってみることができる。</p>	<p>○団体貸出(図書・大型絵本、パネルシアターなど) ・図書館で開催する読書講演会や子ども向けのイベントの案内送付(図書館)</p> <p>○古賀西学童保育所 ・市立図書館より毎月100冊の書籍、紙芝居等を借り、学童内の読書環境を整えている。 ・朝の会、帰りの会での読み聞かせの実施。 ・工作、折り紙、手芸、けん玉等の本を利用活用した保育。 ・玄界高校、大型紙芝居「カチカチ会」さんなどを招いてのお話会の実施。 読売小学生新聞の団体への本の寄贈が当たり、一気に100冊の本が増え、興味も上がった。</p> <p>○花見学童保育所 ・市立図書館より毎月100冊の書籍、紙芝居等を借り、学童内の読書環境を整えている。 ・朝の会、帰りの会での読み聞かせの実施。 ・工作、折り紙、手芸等の本を利用した保育。 ・玄界高校の「出張おはなし会」、大型紙芝居「カチカチ会」さんを招いてのお話会の実施。</p> <p>○千鳥学童保育所 ・指導員による読み聞かせ。3年以上の子の紙芝居読み。 ・学童外の方による読み聞かせ。 ・読書の時間をとる。 ・市立図書館で本を借り、常時置いておく。 ・定期的な本の購入。</p>	<p>○団体貸出により、学童保育所での読書活動の充実が図られた。貸出が増えている(図書館)</p> <p>○古賀西学童保育所 子ども達が本を手にする回数、時間が増え、読書が身近になった。</p> <p>○花見学童保育所 子ども達が本を手にする回数、時間が増え、読書が身近になった。</p> <p>○読み聞かせはとても楽しみにしている。また3年以上の子は読み手にまわり、読み方も上手になっている。毎日何らかの形で本には接することがあるので、身近に感じ楽しめている。</p>	<p>○古賀西学童保育所 ・読書スペースの確保が難しい。 ・本の整理、入れ替え等がなかなかできない。</p> <p>○花見学童保育所 ・在籍児童の増加で、読書スペースが狭くなった。 ・本来の仕事の増加で、本の整理、入れ替え等がなかなかできない。</p> <p>○千鳥学童保育所 毎日帰所時間が遅く、宿題、おやつをすると本に接する時間が限られている。じっくりと物語を読むというよりマンガや絵本やクイズなどを好む。</p>	<p>○事業の継続(図書館)</p> <p>○古賀西学童保育所 ・具体的な取り組みはないが、子ども達の生活の中に読書時間が増え、様々な本を手にとる環境を作っていきたい。 ・使いやすい、見やすい本棚への交替。</p> <p>○花見学童保育所 具体的な取り組みは特にないが、子ども達の生活の中に、読書時間が増え、様々な本を手にとる環境を作っていきたい。</p> <p>○千鳥学童保育所 今まで通りの活動をしていくつもりだが、子ども達の今興味がある事を子ども達と接する上で十分把握し提供していこうと思っている。(今は歴史物が人気がある)</p>
	3-1-(5)アンビシャス広場づくり事業への支援	<p>○青少年育成課 アンビシャス広場づくり事業への支援 地域全体で子どもを育む「アンビシャス広場づくり事業」において、ものづくりや、本の読み聞かせなど様々な活動が行えるよう、子どもが本に親しむ環境づくりを支援する。</p>	<p>○青少年育成課 千鳥チャレンジアンビシャスにおける本の読み聞かせ。</p>	<p>○青少年育成課 読み聞かせを通して、子ども達が本に親しめる環境を整備した。</p>	<p>○青少年育成課 他のアンビシャス広場への普及に至っていない。</p>	<p>○青少年育成課 「アンビシャス広場づくり事業」において、ものづくりや、本の読み聞かせなど様々な活動が行えるよう、本に親しむ環境づくりや、各ボランティア団体の交流を深める。</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項	
1 家庭・地域	3-1-(6)地域コミュニティ活動への支援	<p>○久保西区のびのびサロン ・当初は自治公民館を開放して有志で青少年の見守り、世代間交流を目的として開所しましたが、現在では高齢者の方々が対象とした福祉的なサロン活動(希薄になりつつある地域で顔見知りを増やすための交流の場)を主目的としてサロン活動をしています。</p> <p>○花見東2区子育てサロン“おんぶらーじゅ” 5年ほど前から2区の公民館で行われている喫茶「木よう館」に来られる高齢者の方達と子育て中の親子が自然と交流ができるようなサロン。世代間交流</p> <p>○花見東1区福祉会 おひざにだっこ 子育て支援の目的で地域のお母さん方のコミュニケーションを作り、子どもの接し方についてアドバイスをしている。その中で読み聞かせやわらべうたをしている。</p> <p>○れんげ草文庫 本の貸出しや読み聞かせなどの文庫活動 地域の子も達に読み聞かせや紙芝居などを通して本の楽しさを伝える</p> <p>○生涯学習推進課 地域公民館(類似公民館)内に、子どもが身近に本に親しむ環境づくりができる支援</p>	<p>○久保西区のびのびサロン ・毎月2回のサロン活動(喫茶・おしゃべり)内1回を体験活動(物づくり、軽スポーツ、出前事業など) ・年1回の区長交流食卓会 ・区の事業であるクリスマス会、ソーメン流し、餅つき、ひな祭り等のお手伝いをしています。</p> <p>○花見東2区子育てサロン“おんぶらーじゅ” 平成27年6月からこの事業は始まった。第4木曜日の10時から12時まで2区公民館の小ホールでサロンを行っている。サロンの間、30分程度絵本の読み聞かせや手遊びをしている。</p> <p>○花見東1区福祉会 おひざにだっこ 平成24年頃から福祉会で取り組みを始めた。2ヶ月に1回「古賀子どもの本の交流会」の方に来てもらい読み聞かせ、わらべうたなどをしてもらっている。他の月は保育士経験のある方に手伝ってもらいながら自分達で行っている。</p> <p>○れんげ草文庫 ・毎月第1、第2、第3土曜 10:00~12:00 こもの公民館で絵本の読み聞かせ、紙芝居、折り紙あそびなど ・8月 こもの夏祭りでのバザー出店(こどもくじ) ・12月 子ども会育成会のクリスマス会への協力 ・3月末 卒業を祝う会のピザ会</p>	<p>○久保西区のびのびサロン ・区の事業としての予算づけは継続しています。 ・毎年2回開催していますサロンを楽しみに来られている方々がいらっしゃいます。</p> <p>○花見東2区子育てサロン“おんぶらーじゅ” 始まって1年なので、成果はまだ上がっていないが、始めの頃より子ども達が読み聞かせに少し集中するようになった。</p> <p>○花見東1区福祉会 おひざにだっこ 引っ越されてきてお友達がなかなか作れない方の相談にのったり、子育てで心配なこと、悩み事がある方へ声かけができた。母親同志の交流の場になっている。</p> <p>○れんげ草文庫 少しずつではありますが他地域からの親子連れが来られて、こもの自然にもふれられて良いとの声が聞かれます。</p> <p>○生涯学習推進課 一部の地域公民館(類似公民館)内に、読書スペースがあるものの、今後とも支援が必要</p>	<p>○久保西区のびのびサロン ・楽しみに来られている参加者の人数がだんだん少なくなっています。現在20人位、新規の参加者が増えない。 ・有志による運営委員の減少と募集をかけてもなかなか担い手が増えません。活動の内容も固定化してきました。</p> <p>○花見東2区子育てサロン“おんぶらーじゅ” 子どもの年齢層が0歳児~幼児(2、3歳)のため選本が難しい。対象年齢層が幅広いため。</p> <p>○花見東1区福祉会 おひざにだっこ ・一度来られて悩みを相談された方が二度目につながらない。力不足を感じる。 ・高齢出産の方で子育てがマニュアルどおりでガチガチの方が増えてきた。適切なアドバイスができたと思う。</p> <p>○れんげ草文庫 年々子ども達が習い事などのために来る子どもの数が減少。もっと小さな子ども達のお母さんとのふれあいの場になっていけたらと思っています。</p>	<p>○久保西区のびのびサロン *開設当初の青少年活動である図書を活用した読書活動で公民館に本棚をつくり常時本を置いていますが、サロン活動を平日に開いているために子どもとの接点を設けることができず、現在は残念ながら子どもの読書活動は行っていません。 ・高齢者の方対象のサロンを中心に活動していきたいと思います。</p> <p>○花見東2区子育てサロン“おんぶらーじゅ” 今後も赤ちゃんの時からすぐそばで絵本とふれあうような環境づくりと読み聞かせをしていく。</p> <p>○花見東1区福祉会 おひざにだっこ 今後継続していくかは福祉会でどうしていくか検討が大切。まだまだ地域の担い手でトップになってくださる方がいない。後継者探しが難しい。</p> <p>○れんげ草文庫 現在のところ、現状維持といったところではあります。</p> <p>○生涯学習推進課 今後とも地域公民館(類似公民館)等を活用し、子どもが身近に本に親しむ環境づくりができるよう支援に努める。 青少年育成部会等への読書活動の呼びかけを行う。</p>
1 家庭・地域	3-1-(7)児童館の整備	<p>○青少年育成課 児童館の図書室等を充実し利用促進を図る。</p>	<p>○青少年育成課 ・米多比児童館での地域文庫の設置 ・千鳥児童センターにおける乳幼児事業での読み聞かせ ・図書館から毎月20冊程度を借りて児童館で閲覧している。</p> <p>○図書館 千鳥児童センターなどへの団体貸出し</p>	<p>○青少年育成課 乳幼児への読み聞かせや、図書館蔵書を借り入れ、毎月入れ替える事で子ども達に本に触れる機会を与えることができた。</p>	<p>○青少年育成課 平成29年度に開設予定のししぶ児童センター(仮称)における図書コーナーの充実</p>	

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項	
1 家庭・ 地域	3-1-(8)子ども体験活動事業の取り組み	○青少年育成課 子ども体験活動事業の取組み 様々な体験活動の機会を提供する中で、地域やボランティアと連携して、子どもを読書に導く活動を織り込むように務める。	○青少年育成課 古賀市子どもわくわくフェスタにおける「子どもの本の交流会」でのリーディングリーダー小中学生による読み聞かせ。	○青少年育成課 様々な体験活動を通して、地域で活動するボランティアと連携し、読書に導く活動を織り込めた。		○青少年育成課 古賀市子どもわくわくフェスタにおける「子どもの本の交流会」での読み聞かせ
	3-1-(9)社会教育における読書活動の整備				○生涯学習推進課 中央公民館等で実施する各種事業や講座などの託児の場などにおいて、今後とも、子ども読書活動を推進できるように創意工夫を凝らした  ○図書館 社会教育における事業の中で、託児に必要な絵本などがあれば団体貸出しを継続する	

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項	
2 保育所（園）・幼稚園	3-2-(1)本の読み聞かせ	<p>○鹿部保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会</li> <li>・豊かな感性を育む</li> <li>・言語能力を高める</li> <li>・生活に生かす力を養う</li> </ul> <p>○庄ひかり保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学までに大きく力を養う</li> </ul> <p>○花見光保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会・観劇会</li> <li>・素話を聞き、お話の内容をイメージすることができストーリーを理解できる。</li> <li>・お話を楽しむ</li> </ul> <p>○花見あおぞら保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園児・未就園児向けにボランティアグループの方による読み聞かせ</li> <li>・園児・未就園児へ絵本の楽しさを伝える</li> <li>・絵本を通して親子のふれあいの大切さを伝える</li> </ul>	<p>○鹿部保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お話しの読み聞かせ（毎日実施）</li> <li>・GTによるお話し会の実施（草野先生）</li> </ul> <p>○庄ひかり保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳児クラスから5歳児クラスまで、日々の絵本の読み聞かせの実施</li> <li>・5歳児での外部おはなし会講師によるストーリーテリング</li> <li>・週1回の絵本の貸出し実施（0～5歳児）</li> </ul> <p>○花見光保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会</li> <li>・観劇会</li> <li>・日々の絵本、紙芝居などの読み聞かせ</li> </ul> <p>○花鶴どろんこ保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単年度としては一昨年、講演会（絵本）をおこなう。</li> </ul> <p>○花見あおぞら保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアグループにより絵本の読み聞かせやふれあい遊び、わらべうたの伝承</li> <li>・園以外の絵本や紙芝居では冊数が足りないため、定期的に図書館へ行き子ども達への読み聞かせを続けている。</li> </ul>	<p>○鹿部保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の好きな子どもになっている。</li> <li>・親子で絵本に触れ、見る姿が多々見られる。</li> <li>・豊かな感性表現が出てきだしている。</li> </ul> <p>○庄ひかり保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学までに耳で大きく力をつける</li> </ul> <p>○花見光保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本や紙芝居等、視覚に訴えるものがない場合でも、素話を集中して聞くことができるようになった。</li> <li>・「聞く力」「理解」「集中力」「お話を楽しむ力」の育成ができた。</li> </ul> <p>○花見あおぞら保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本をとて集中して見れるようになり、又家庭での絵本を読む時間が増えた。（絵本の購入者が増えた）</li> <li>平成26年度開園なので今も活動継続中）</li> </ul>	<p>○鹿部保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本のとりあつかい方</li> <li>・集中してきけない姿</li> <li>・表現する力が弱い（おもしろかった～でおわる）</li> </ul> <p>○庄ひかり保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本に興味を示さない子、集中の続かない子への対応。関わり方。</li> </ul> <p>○花見光保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・培ってきている力をどんな場でもどんな人とも発揮できるようになること。</li> </ul> <p>○花見あおぞら保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色々なボランティア団体の方の力を借りながら、園内でも勉強しつつ色々な絵本や紙しばい、手遊びやわらべうたを子ども達へ広げていきたい。</li> </ul>	<p>○鹿部保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆったりした読み聞かせの時間の設定</li> </ul> <p>○庄ひかり保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在実施している活動の継続。</li> </ul> <p>○花見光保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会、日々の読み聞かせを継続する。</li> <li>・バラエティに富んだ観劇会を実施する。</li> </ul> <p>○恵あおぞら保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の中で、大型絵本、パネルシアター、エプロンシアターなどを利用し、子ども達により絵本の世界への興味を深める。（図書館等も利用する）</li> <li>・毎日の保育の中で、より多くの絵本に親しむ時間を作る。</li> </ul> <p>○花見あおぞら保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアグループによる読み聞かせの会へ参加</li> <li>・定期的な絵本や手遊びの研修会への参加</li> <li>・保護者の方へ月刊絵本や子ども達が興味を持っている絵本を紹介して行く。</li> <li>・未就園児が集まるあおぞらルーム内でも読み聞かせを毎回続ける（読み聞かせの会にも参加）</li> </ul>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項	
2 保育所（園）・幼稚園	3-2-(1)本の読み聞かせ	<p>○暁の星幼稚園 たくさんの本に触れる機会を増やす</p> <p>○花鶴丘幼稚園 にじのおと(絵本の読み聞かせ) 子ども達に絵本の楽しさを伝え、いつまでも心に残る作品と出会ってほしい。</p> <p>○花鶴丘幼稚園にじのおと おはなし会 ・本の楽しさを知ってもらい、本を読むことが好きになってもらいたい。</p> <p>○図書館 保育所(園)、幼稚園内において子どもに絵本や紙芝居の読み聞かせを継続して行えるよう、団体貸出しを行う。</p>	<p>○暁の星幼稚園 1日1つの本と触れ合う。</p> <p>○花鶴丘幼稚園 年に3回、各クラス20分ずつ、1~2名の方に絵本の読み聞かせ3冊とわらべうたを子ども達に行っていただく。</p> <p>○花鶴丘幼稚園にじのおと ・各学年年間3回のおはなし会 ・未就園児対象の会におけるおはなし会 年2回 ・姉妹園でのマザーズルームでのおはなし会 年4~5回 ・在園児対象のおはなし会 年2~4回</p> <p>○図書館 保育所(園)、幼稚園に対して団体貸出しを行う。</p>	<p>○暁の星幼稚園 たくさんのお話を聞く事で想像力が豊かになり、繰り返し聞き同じ本でも成長にともない違った視点で聞く事ができる。</p> <p>○花鶴丘幼稚園 にじのおとの時間を子ども達がとても楽しみにしており、絵本への興味も向上した。</p> <p>○花鶴丘幼稚園にじのおと 目的に合うよう、選書やプログラムの検討は重ねていますが、子ども達に追跡調査をしているわけではないので、成果についてははっきりしたことはわかりません。</p> <p>○図書館 2つの幼稚園内に読書ボランティアがあり、団体貸出しを継続している。</p>	<p>○暁の星幼稚園 たて割りクラスなのでどの年齢の子どもでも聞ける姿勢になるように工夫する。</p> <p>○花鶴丘幼稚園 絵本だけでなく、子どもが自ら意欲的に絵本を読めるような環境を作る。</p> <p>○花鶴丘幼稚園にじのおと 基本的に、平日の午前中の活動のため、いっしょに活動してくれる仲間を集める事に苦勞しています。</p> <p>○図書館 まだ団体登録されていない園がある。</p>	<p>○暁の星幼稚園 今まで通り継続し、新しい本も取り入れながらたくさんの本に触れる機会を作る。</p> <p>○花鶴丘幼稚園 ・保育時間中の読み聞かせの時間を増やし、にじのおとの方から読み聞かせのテクニックなどを学び、子ども達がより絵本に興味を持てるように努力する。</p> <p>○花鶴丘幼稚園にじのおと 今後も今までと同じく、年間3回のおはなし会を通して、本の楽しさや人の声を聞く楽しさを子ども達に伝えていきたいと思っています。</p> <p>○図書館 団体貸出しの継続</p>
	3-2-(2)図書スペースの確保と充実		<p>○花鶴どろんこ保育園 ・新園舎になり、絵本コーナーを玄関ホールに設けたことで、絵本の整理をして、絵本コーナーを充実させる。</p>		<p>○花鶴どろんこ保育園 絵本を少しずつ増やしてもっと内容を充実させていく。</p>	

		事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
2 保 育 所 （ 園 ） ・ 幼 稚 園	3-2-(3) 保護者へのはたらき かけ	<p>○やまびこ幼稚園【トマトの会】 やまびこ幼稚園行事(お誕生会)のお手伝い</p> <p>○花鶴どろんこ保育園 絵本の貸出し ・親子で絵本に親しみ、親子のふれあいの時間を持つ。</p> <p>○久保保育園 ・絵本に触れる機会を多く持つ ・想像力、探究心、考える力を養う ・親子の触れ合いの時間を持つ</p> <p>○恵あおぞら保育園 絵本の貸出し・絵本の読み聞かせ 親子で絵本にふれ合う時間を作る。絵本を読むことで子どもの気持ちを安定させ、想像力が豊かになり、人の気持ちがわかるようになる。</p>	<p>○やまびこ幼稚園【トマトの会】 人形劇などの出し物</p> <p>○鹿部保育所 ・絵本貸出(親子読書) ・絵本だより発刊(絵本紹介他)</p> <p>○花鶴どろんこ保育園 26年度から絵本の貸出しをはじめ。</p> <p>○久保保育園 ・絵本の紹介・読み聞かせ・お話会の実施 ・0～2歳児 親子での本の貸出し ・3～5歳児 保育の中で本の貸出し(週1度) ・図書だより発信・本の貸出しチャンピオン表彰 ※平成26年度に委譲してから3年間の取り組みです。</p>	<p>○やまびこ幼稚園【トマトの会】 年に4、5回の出し物で先生方や子ども達に喜んで頂けました。</p> <p>○花鶴どろんこ保育園 ・絵本の貸出しが定着してきた。絵本に親子で興味をもつようになる。</p> <p>○久保保育園 子ども達が自ら絵本を手に取り、楽しさを十分に感じ取る姿が見られるようになった。 ・お話を聞く力がついてきた。</p>	<p>○久保保育園 ・一人でも多くの子どもに、本の楽しさを知ってもらう為には、家庭との連携の必要性があるが、各家庭によって読書の考え方が違う。</p>	<p>○やまびこ幼稚園【トマトの会】 メンバーがそれぞれ仕事をはじめたり、介護などの理由で今までのような練習が必要な活動が難しくなってきた。 →回数は未定だが「読み聞かせ」に切り替えていく予定。</p> <p>○鹿部保育所 ・大事にしていることを継続する。 ・絵本の大切さを保護者へ啓発、知らせる</p> <p>○恵あおぞら保育園 ・週に1回、保育園にある絵本を親子で選び借る。</p> <p>○花鶴どろんこ保育園 ・良い絵本、楽しい絵本の紹介をする。 ・親子で絵本を読む時間を共有することの大切さを伝えていく。 ・絵本の講演会を行なう。</p> <p>○久保保育園 課題を踏まえた上で、園から家庭への発信もたえず行いつつ、まずは子ども達から、絵本の楽しさや読書の大切さを家庭へ伝えるような働きかけを行う。子ども達からの発信が行えるよう、今まで3年間の取り組みをさらに充実させていきたい。</p>

		事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
3 学 校	3-3-(1)学校図書館の運営	<p>○教育活動を通して様々な本とふれあうことにより、子どもの読書への興味・関心を高め、読書習慣の定着を図り、読書力や表現力を育成していく。</p>	<p>○図書館運営案の作成、実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校共に、4月年度当初に、司書教諭、図書館担当教諭、司書が協力して「図書館運営案」を作成。職員会議で一年間の図書館運営方針や目標、具体的な取り組み内容などを提案し全職員共通理解のもと運営がなされる。</li> <li>・前期・後期ごとに運営の反省、見直しを行う。</li> </ul>	<p>【青柳小】 図書室での過ごし方、図書の取り扱い方など、日常的に利用指導を行った。</p> <p>【小野小】 学校図書館運営は校長をはじめとして司書教諭・司書が中心に行い、図書委員会が自主的に活発に活動することが日常的になっている。</p> <p>【古賀東小】 毎月の努力目標を周知し、ルール・マナー・資料の取り扱いなど年間を通して利用指導を行い、基本的な活用ができるようになった。</p> <p>【古賀西小】 図書館の全体計画に基づき、推進計画を立て、全職員と共通理解を計りながら、図書館を運営している。ここ数年、司書教諭との連携がうまくできているため、図書館教育や読書推進が定着してきている。</p> <p>【花鶴小】 年度初めに司書教諭と話し合い、計画的に運営することができた。</p> <p>【千鳥小】 司書と司書教諭で協力しながら、運営できた。図書委員もとてもよく活躍し、読書週間の取組が実践できた。</p> <p>【花見小】 リーディング・リーダーや図書委員が、中心となって行ったお話し会や読書集会等をきっかけとして、子どもたちが積極的に読書活動を行うようになってきた。</p> <p>【舞の里小】 図書指導部として学校図書館教育目標や月毎の努力目標を掲げ読書推進のよびかけを行い、さらに図書館年間活用計画を作成することにより読書や調べ学習がしっかり行える環境作りが出来ていると思います。</p> <p>【古賀中】 図書委員会を中心に、日常活動、広報活動、行事を円滑に進めることが出来ている。</p> <p>【古賀北中】 図書委員会を中心に、日常活動、広報活動、行事を円滑に進めることが出来ている。</p> <p>【古賀東中】 読書推進活動や、生徒のニーズを積極的に把握し取り入れていくことで、読書に親しみを持つ生徒の増加につなげた。</p>	<p>【青柳小】 貸出期限についての意識が低いので、意識付けをしていく。</p> <p>【小野小】 図書委員会の日常活動や読書活動は活発に行われているが、本の整理整頓が苦手な児童が多いため、自主的に行われるような取り組みを考えたい。</p> <p>【古賀東小】 図書委員会が本の整理・広報活動・行事について自発的に運営できる体制づくりが必要。</p> <p>【古賀西小】 管理職により、経営方針が異なるため、計画や実践が定着しにくい場合がある。</p> <p>【千鳥小】 読書週間以外の高学年の利用が少ないため、運営体制を見直し、さらなる利用に繋げていきたい。</p> <p>【花見小】 図書館教育部の担当教職員が多忙であり、また、短期間で変わる為、長期的な計画を実施することが困難である。そのため、密な申し送りが必要である。</p> <p>【舞の里小】 授業での調べ学習がより充実したものになるよう、担任、司書教諭、学校司書との連携をもっとしていきたいと思います。</p> <p>【古賀中】 まだまだ図書館マナーなど完璧ではない。中学生になると図書館に来ること自体少なくなるので、図書館に行きたくなる工夫が必要。</p> <p>【古賀北中】 まだまだ図書館マナーなど完璧ではない。中学生になると図書館に来ること自体少なくなるので、図書館に行きたくなる工夫が必要。</p> <p>【古賀東中】 教育課程に位置づけた図書館の利用や授業の実施とあるが、授業での利用が少なく、目標通りに実施できていない。</p>	<p>○校長、司書教諭及び司書を中心に、全職員に図書館運営について共通理解を深め体制を整える。</p> <p>○児童生徒の図書委員会が図書の貸出・返却・予約などの日常活動をはじめ本の整理、広報活動、行事など自発的な読書活動が行えるように、学校全体としての運営体制の向上に努める。</p>

		事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
3 学 校	3-3-(2) 読書指導・読書活動の充実	○教育活動を通して様々な本とふれあうことにより、子どもの読書への興味・関心を高め、読書習慣の定着を図り、読書力や表現力を育成していく。	○朝の読書活動や全校一斉読書、昼のお話会などの実施 ○読書ボランティアやゲストティーチャーによる読み聞かせ・ストーリーテリングなどの実施 ○家庭読書の日の設定 ○読書週間(月間)や読書集会などの行事実施 ○ミニ図書館の設置 ○学級貸出の推進(学級貸出用コンテナの利用) ○教師による本の読み聞かせやおすすめの本の紹介	【青柳小】 年度初めにオリエンテーションを行った。図書時間にビブリオバトルや辞書引きを行ったことで、読書月間のイベントの関心を高めることができた。 【小野小】 朝の活動で朝読書を毎年続けている。中でも朝読書には写真や漫画雑誌、クイズ・迷路等の図書以外のお話の図書を読むことにして読む力をつけ、読書の楽しさ、良さを伝えるきっかけにしている。前期後期はじめ、図書の時間に読書の目標を児童が書いて、目標に向かって読書をするよう指導している。 【古賀東小】 読書センターとして、豊かな感性や情操をはぐくみ、言語活動を充実させるべく適切な資料収集・紹介し、読書活動の深化を図った。 【古賀西小】 読書指導に関しては、司書教諭による新聞学習授業や百科事典・図鑑の利用指導授業を実施することで、児童が資料の活用方法、調べ学習のやり方などを知るきっかけづくりになった。この後、担任が、新聞学習や自学ノートの実施で定着を図ることが出来た。読書活動に関しては、おすすめの本の紹介、読書の記録の活用で読書の幅を広げることが出来た。また、図書の時間や休み時間には、本を探せない児童に、話をしながら、個に応じた図書を手渡すことで読書の楽しさを伝えることが出来た。 【花鶴小】 週に2回の朝読、低学年は月1でボランティアによる読み聞かせ、年に2回GTを招いてのお話会を行っている。 【千鳥小】 図書の時間に本の調べ方、絵本の読み聞かせ、ブックトークなどを行うことにより、読書指導の充実を図ることができた。 【花見小】 ゲストティーチャーによるお話会を実施することにより、児童が読書の楽しさや良さを知り、図書の貸出し増加につながった。 【舞の里小】 週2回(火・木)の朝読書、年3回の一斉読書の設定など決まった時間に読書を行うことにより、日々の生活の中で読書が習慣化されてきていると思います。 【古賀中】 朝の読書で年々不読者は減っている。これからも朝読書や行事を通じて読書習慣の定着を図ってきたい。 【古賀北中】 朝の読書で年々不読者は減っている。これからも朝読書や行事を通じて読書習慣の定着を図ってきたい。 【古賀東中】 1学年を対象に、国語の時間にオリエンテーションを実施。朝の10分間読書の実施。	【青柳小】 図書館利用が少ない子ども、自分で本を選べない子どもへのフォローをする。 【古賀東小】 「家庭読書の日」を設け、読書の定着を図りたい。 【古賀西小】 読書指導に関しては、学級間でかなり差ができる傾向にあるので、簡単に持続できる方法を考えていく必要がある。読書活動に関しては、担任の協力を得ることで、児童の読書意欲をもっと向上していくことが出来るのではと思います。 【花鶴小】 調べ学習等で資料を頼まれるのが、ギリギリで十分に用意できないこともあったので、余裕をもって依頼されるようにしていきたい 【花見小】 ゲストティーチャーによるお話会を実施し、継続していくには財源確保が不可欠である。 【舞の里小】 今後は図書館をあまり利用しない児童や、読む本に偏りのある児童への個別の対応もしていける必要があると思います。 【古賀中】 生徒一人一人に合った読書の楽しさを伝えられるような環境づくりや読書活動を行いたい。 【古賀北中】 生徒一人一人に合った読書の楽しさを伝えられるような環境づくりや読書活動を行いたい。 【古賀東中】	○「朝の読書」や「全校一斉読書」などの設定により、児童生徒が自ら進んで読書する環境づくりに努める。 ○読書ボランティアやゲストティーチャーによる「読み聞かせ」やブックトークなどを行うことで、新たな読書の楽しさを知る動機づけを行う。 ○各学年に応じた推薦図書リストやコーナーを作り、「家庭読書の日」を設けるr事により、読書習慣の定着を図る。 ○授業参観日に保護者への図書館開放を行い、親子読書の推進を行う。

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
3 学 校	3-3-(3)読書関連行事の実施 ○教育活動を通して様々な本とふれあうことにより、子どもの読書への興味・関心を高め、読書習慣の定着を図り、読書力や表現力を育成していく。	○読書週間(月間)、読書集会の実施 ○「子ども読書の日」4月23日の取り組み	<p>【青柳小】6, 11, 2月を読書月間とし、図書委員会がおはなし会、ビブリオバトル、辞書引き大会、人形劇など行った。「〇〇集め」ではクラス内で盛り上がりつつ取り組んでいた。</p> <p>【小野小】子ども読書の日取り組み・家読実施計画、あじさい週間、もみじ週間、読書集会、雪だるま週間など年間に6回企画して実施している。</p> <p>【古賀東小】読書週間(月間)を4・6・10・2月に実施することで個人別読書貸出冊数が増加となった。</p> <p>【古賀西小】「子ども読書の日」のほかに年3回の読書週間、秋の読書集会を実施している。読書週間のイベント内容は、すべて図書委員会が企画運営します。委員さんは、この活動を通して、協力と責任を実感し、大きく成長します。読書集会は、地域、学校・図書委員会が協力して行うことで、読書活動の良さを発信する場になりました。読書関連の行事を通して多くの児童が、読書に興味関心を持つことが出来ました。</p> <p>【花鶴小】子ども読書の日取り組み、読書月間(年2回)を行った。貸出冊数を増やしたり、図書委員がイベントを行うことで読書活動の充実を図った。</p> <p>【千鳥小】年3回～4回の読書週間を毎年行うことにより、読書週間を楽しみにする児童が多くなった</p> <p>【花見小】全児童、全教職員の協力が必要であることから、読書に対する意識改革につながった。</p> <p>【舞の里小】年3回の読書月間を設け、図書委員を中心に様々な取り組みを実施することで、期間中はより図書館を利用する機会が増え、読書の幅も広がったと思います。</p> <p>【古賀中】図書委員や生徒が意見を出したりしてくれ、実践することも増えてきた。図書館を身近に感じてくれるようになり、普段は利用しない生徒も図書館に来てくれることが増えた。</p> <p>【古賀北中】図書委員や生徒が意見を出したりしてくれ、実践することも増えてきた。図書館を身近に感じてくれるようになり、普段は利用しない生徒も図書館に来てくれることが増えた。</p> <p>【古賀東中】年に2回(夏・冬)に読書週間の実施。</p>	<p>【青柳小】広報が不十分だったので力を入れたい。</p> <p>【古賀東小】読書週間でない時期も群読などで意識的に読書を取り入れたい。</p> <p>【古賀西小】読書関連行事が、その時だけの楽しさだけでなく、ずっと続けられるような活動を考えていく必要がある。また、委員さん任せにすると、面白さ、簡単さだけに偏る傾向にあるので、委員会担当教師とよく話し合い、委員会活動を充実していく必要がある。</p> <p>【千鳥小】児童が図書館に来なくなるような読書の取組を今後も実施していきたい</p> <p>【花見小】行事の準備、運営委員会や各部会の会議等の時間確保が難しいので、効率的に行えるよう工夫していく必要がある。</p> <p>【舞の里小】読書期間中はたくさん本を読むことにとらわれがちなので、じっくりと読む長編なども薦めていきたいと思います。</p> <p>【古賀中】学校全体で行事の共通理解がまだまだ出ていないので、啓発・広報をしっかり行いたい。</p> <p>【古賀北中】学校全体で行事の共通理解がまだまだ出ていないので、啓発・広報をしっかり行いたい。</p> <p>【古賀東中】学校行事との兼ね合いで、読書週間の活動期間が十分にとれなかったり、準備期間が足りない場合がある。</p>	<p>○各学校独自の「読書週間」や「読書月間」に合わせて読書集会や読書郵便などの特別行事を企画し、読書への関心を高めるとともに、本に親しむ機会を増やす。</p> <p>○4月23日「子ども読書の日」には、その意義を十分理解できるよう、読み聞かせやお話会など各学校で工夫を凝らした読書活動の取り組みを進める。</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
3 学 校	<p>3-3-(4) 学校図書館間ネットワークの活用</p>	<p>○教育活動を通して様々な本とふれあうことにより、子どもの読書への興味・関心を高め、読書習慣の定着を図り、読書力や表現力を育成していく。</p> <p>○図書館 学校図書館のネットワークを活用することによって、市内全域の学校図書館の資料を効果的に利用し、学習、読書活動の支援が十分かつスムーズに行なえること。</p>	<p>○ネットワークシステム(e-slip)により、学校間での蔵書状況がわかり、相互貸借が円滑にできる。</p> <p>○市立図書館の蔵書はインターネットで検索ができ、調べ学習などで多くの資料が必要な際に利用できる。</p> <p>○図書館 ・e-slipを利用して他校の蔵書検索を行い、相互貸借を依頼する。このネットワーク事業の予算を担当 ・司書教諭や学校司書が作成した単元目録や読書用のリストを基に学校に資料を提供(団体貸出)</p>	<p>【青柳小】 e-slipで他校の蔵書が見られてとても役に立った。少量なら市内の使送便が利用できてよかった。</p> <p>【小野小】 インターネットを経由した検索システムで学習に必要な資料を呼びかけ、相互貸借することができている。</p> <p>【古賀東小】 調べ学習においてe-slipを活用し蔵書を検索確認することで、多くの図書を利用することができた。</p> <p>【古賀西小】 サイボーズを資料の貸借などで利用し、多くの資料を児童に手渡すことが出来た。</p> <p>【花鶴小】 本の貸借を行う時にe-slipを使って各校の蔵書を調べた。急に資料が必要となった時に活用した。</p> <p>【千鳥小】 授業で使う図書や子どもたちの希望する図書を他の学校図書館から依頼することにより、資料の充実を図ることができた。</p> <p>【花見小】 インターネットを経由した検索システムを利用することにより、各図書館の蔵書情報を知ることができたので、調べ学習資料の相互貸借に大いに役立った。</p> <p>【舞の里小】 調べ学習などで自校の本だけでは足りない場合、検索システムから各学校の蔵書情報がすぐにわかるので、大変役に立っています。</p> <p>【古賀中】 調べ学習で使用したい本を、使用するぎりぎりに教職員に頼まれることが多いのですぐに調べられて便利。</p> <p>【古賀北中】 調べ学習で使用したい本を、使用するぎりぎりに教職員に頼まれることが多いのですぐに調べられて便利。</p> <p>【古賀東中】 e-slipによる本の検索機能により、資料を探して相互貸借を行う。</p> <p>○図書館 ・図書館ではe-slipの利用がほとんどなかった。 ・団体貸出でよく利用された。</p>	<p>【青柳小】 アップデートをしていないと、最新のデータが見られない。</p> <p>【小野小】 必要な資料は司書が取りに行くことにしているが、小野小は公共図書館や他校が遠いため、学校により負担が大きい。</p> <p>【古賀東小】 学校間相互貸借により調べ学習・総合の学習において有効活用ができています。物流ネットワークの整備が必要。</p> <p>【古賀西小】 資料がすぐに欲しい際には、すぐに返事がもらえないので困る。</p> <p>【花鶴小】 本の移動に時間がかかる。大量に本の貸出をする時が大変。</p> <p>【千鳥小】 e-slipで他校の蔵書を検索することができるが、司書がアップロードしないと検索することができないため、2ヶ月に1回くらいはアップロードしていくように呼びかけたい</p> <p>【花見小】 検索システムの台数に限りがあるため、児童等が自ら検索して、図書資料を探すことが難しい。</p> <p>【舞の里小】 市立図書館からたくさん本を借りたい場合、使送便が利用できると仕事の効率上助かると思います。</p> <p>【古賀中】 時間の都合上、なかなか会って方法交換が出来ないので、もっと情報交換して図書館活性化に役立たい。</p> <p>【古賀北中】 時間の都合上、なかなか会って方法交換が出来ないので、もっと情報交換して図書館活性化に役立たい。</p> <p>【古賀東中】 本によっては検索で出てきづらい本があったり、e-slipをあまり活用しない学校は、データが古いままの場合がある</p> <p>○図書館 学校との連携をもっと深める。</p> <p>○図書館 ・定期的な物流システムの配置を求める。 ・司書研修会の参加や学校と密な情報交換ができるよう学校教育課指導係と協力していく。</p>

		事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
3 学 校	3-3-(5)読書ボランティア団体との連携・協力	<p>○教育活動を通して様々な本とふれあうことにより、子どもの読書への興味・関心を高め、読書習慣の定着を図り、読書力や表現力を育成していく。</p>	<p>○朝の読書活動に読み聞かせボランティアとして招き読書への興味関心をもたせる。 ○お話会のゲストティーチャーとしてストーリーテリングや本の紹介を実施し豊かな心情を育てる。</p>	<p>【青柳小】 週1回の読み聞かせ、年2回のおはなし会をさせていただいている。熱心に話を聞く子ども達の姿が見られた。読まれた本を図書室に探しにくる子どももいて、読書推進になっている。</p> <p>【小野小】 朝読書でボランティアの方が低学年2回、中・高学年月1回等の割合で読み聞かせを行っている。読み聞かせの本の相談や貸出に対応している。またゲストティーチャーのお話を毎年、年に3回行っている。</p> <p>【古賀東小】 読書週間に合わせて、年2回のおはなし会と毎週月曜日の昼読、火・水曜日に朝読を実施することで、読書の幅が広がり楽しみながら意欲的に読書を行うようになった。</p> <p>【古賀西小】 地域ボランティア「ここほん」は低学年を対象に年間を通して、「こが語りの会」は全学年を対象に冬の読書週間の際に連携している。この活動は、普段子どもたちがあまり手に取ることのない、長く読み継がれてきている本に出合うきっかけづくりになっている。また、子どもが、お話の世界に浸り、想像する力を養うことが出来るようになる。保護者の読み聞かせは、楽しいお話が多いので、子どもたちが、次の授業を気持ちよく受けることができる。環境ボランティアとの連携では、季節や月に合わせた掲示物を作成し、子どもの読書への関心を向上させることができた。</p> <p>【花鶴小】 読み聞かせボランティアが立ち上がった。昼のお話会(月1)と朝読(1・2年、月1)を行っている。</p> <p>【千鳥小】 学年に応じた本の紹介や読み聞かせを行ってもらったが、紹介する本はなるべく蔵書のあるものにしていただくことで、児童が興味を持った本をすぐに借りることができた</p> <p>【花見小】 子どもが教職員以外の大人と接することによって、子どもに新しい刺激を与えられた。</p> <p>【舞の里小】 「こが語りの会」に年2回来校頂きおはなし会をいただいています。当日は中で紹介された本を展示することで興味をもった子供たちが借りていく姿がよく見られました。</p> <p>【古賀中】 朝読書や普段の読書からは得ることのできない、人に読んでもらう感動安心感や幸福感を味わい、不読者には本の楽しさに気づくことができる。</p> <p>【古賀北中】 朝読書や普段の読書からは得ることのできない、人に読んでもらう感動安心感や幸福感を味わい、不読者には本の楽しさに気づくことができる。</p> <p>【古賀東中】 朝読書時に「こが語りの会」を招聘し、読み聞かせを行う。</p>	<p>【青柳小】 朝の読み聞かせをさせていただいている「おはなしの木」ではメンバーが減っているため、引き続き募集を行っていききたい。 【小野小】 【古賀東小】 今後も読書ボランティア、保護者と連携・協力を図りたい。 【古賀西小】 課題はあまりありませんが、保護者読み聞かせボランティアに関しては、読み聞かせに詳しい方に研修をしてもらうことで、もっと充実した活動ができるようになると思います。 【千鳥小】 前もってプログラムがわかっていると他のボランティアで紹介された本が重ならなくていいと思う 【花見小】 読書ボランティアは保護者を中心に構成されているが、人数が減少傾向にあり、人数の確保が重要である。 【舞の里小】 月2回行われている保護者ボランティアによる朝の読み聞かせの人数が現在不足しているため、ボランティアの募集にも力を入れていきたいと思います。 【古賀中】 授業の関係や、ボランティアさんの都合上、なかなか実施する機会が少ないのが残念。 【古賀北中】 ボランティアさんの人数が足りないような時たまにあるので、ボランティアさんの無理のないように気を付けたい。 【古賀東中】 読み聞かせの時間が、登校時間の直後だったため、準備が終わっていない生徒や遅れてくる生徒がいるので、開始時間などより取り組みの徹底が必要。</p>	<p>○各学校では、読書ボランティアやゲストティーチャーによる本の読み聞かせやお話を実施。児童生徒が多彩な読書活動にふれることで新鮮さを感じ、本への興味が高い炉茉莉、読書意欲を高めると共に、独尊の幅も広がっていく。 今後も読書ボランティアや保護者との交流を深めながら連携と協力を図っていく。</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
3 学 校	<p>3-3-(5)読書ボランティア団体との連携・協力</p> <p>○図書館 読書ボランティア団体が活動するため協力をを行う。</p> <p>○ぐりとぐらの会(古賀東小) 週1回全学年朝読、毎週月曜日昼読、年1回授業中のおはなし会 子ども達に素敵な本を届けること。本との出逢いの場をつくる。</p> <p>○小さな野原の会(小野小) 小野小学校の朝の10分間読書で読み聞かせをすることにより、子ども達に読書の楽しさを伝える。</p> <p>○おはなしの木(青柳小) 朝の読み聞かせ(週1回)や不定期に行うイベントを通して本のおもしろさ、読書の喜びを子ども達に伝えること。</p>	<p>○図書館 団体貸出し 読書ボランティア団体への読書講座などの情報提供</p> <p>○ぐりとぐらの会 ・週1回全学年に入る朝読(平成24年より前からずっと継続) ・毎週月曜日昼読 ・年1回授業中のおはなし会 ・年1～2回久保保育園おはなし会 ・毎月の定例会、年1回の総会 ・リーディングリーダーのおはなし会を実施指導</p> <p>○小さな野原の会 朝読書の時間、1、2年生は毎週1回、3～6年生は月に1回、絵本の読み聞かせを行なった。</p> <p>○おはなしの木 ・週1回朝10分間の読み聞かせ ・学習発表会での出し物(ペープサートや読み聞かせ)・5年生のキャンプでの夜のお話会・夏休みの夜のお話会(ブラックシアターなど)・読書集会での出し物(紙芝居を収録し各クラスのテレビで放映) ・6年生を送るお別れの読み聞かせ会</p>	<p>○図書館 年々小・中学校の朝の読書の読み聞かせボランティア団体が増加している。 古賀西小「こんぺいとう」(H26年)</p> <p>○ぐりとぐらの会 ・東小だけにかかわらず、市立図書館のお話会、久保保育園のお話会、平成28年度は新光園のお話会(新宮)とお話会の幅を広げていけたこと。 ・会員も向上心高く、ストーリーテリング、ブックトークなどができるようになってきたこと。</p> <p>○小さな野原の会 朝早い時間にもかかわらず、子ども達は集中して絵本を見、聴いている。楽しさを感じ、主人公への感情移入など、心を動かしている様子がよくわかる。</p> <p>○おはなしの木 外部の方にも子ども達のお話を聞く真剣な姿勢や集中力をほめていただいております。</p>	<p>○図書館</p> <p>○ぐりとぐらの会 ・現役の小中学生を持つ保護者の会員が増えないこと。 ・仕事を始める会員が多くなり、若干、同じようなメンバーでお話会に入る状況がある。</p> <p>○小さな野原の会 ボランティア会員が少ないため、一クラスだけ休みにしなければならないことが何度もあった。できるだけ毎回休まずに続けたい。</p> <p>○おはなしの木 常に会員数が不足しており、週1の読み聞かせで全てのクラスには回れないこと。</p>	<p>○図書館 事業の継続</p> <p>○ぐりとぐらの会 ・柱である朝読・昼読・授業中のお話会は欠くことのないよう継続し、定例会等で自ら勉強し、子ども達に本の素晴らしさをメディアに負けないように伝えて、届けていきたい。 ・お話会に入るための打ち合わせを今まで通りじっくり数回やってよいものを届けることを基本とし続ける。</p> <p>○小さな野原の会 引き続き休まず続けていきたい。ボランティアの育成のため、勉強会や講演会への参加を求めたい。</p> <p>○おはなしの木 ・会員数を増やすための宣伝活動 ・定期的に週1の読み聞かせ以外のイベントを行っていくこと。 ・保護者の方達にも活動への理解、参加を促していくこと。</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
3 学 校	<p>3-3-(5)読書ボランティア団体との連携・協力</p> <p>○花見小まつぼくり まつぼくりタイム 子ども達に本の楽しさを伝える。</p> <p>○舞小ぐるんば読み聞かせの会 月2回程度10分間の読み聞かせ</p> <p>○花鶴小学校こんぺいとう 「言葉のちから」心育てる本を手渡すために「子ども達の笑顔を大切にすため</p> <p>○古賀西小学校おひさま 読み聞かせ、朝読書 小学生の子ども達に本の幅を広げる。 自分で読めない子に本の楽しさを伝える。</p> <p>○北中見つめるタイム 朝読書の時間に行う中学生への読み聞かせ及び地域開放における未就園児と保護者向けの読み聞かせ活動</p>	<p>○花見小まつぼくり ・月1～2回朝15分間各クラスに入って絵本の読み聞かせ。 ・年に1回11月にあるフェスタの時に、パネルシアターやエプロンシアター、紙芝居等を見せる。 ・年1回12月にある読書集会のときに、絵本をスライドにして大型のスクリーンに映して全校生徒に読み聞かせをする。</p> <p>○舞小ぐるんば読み聞かせの会 昨年度のみ小学校図書館掲示物の作り変え、POP作成など、司書の先生と一緒に、子ども達が少しでも本を借りに来る機会を増やそうと、色々とお手伝いしました。</p> <p>○花鶴小学校こんぺいとう 活動を始めてまだ間もないですが、楽しく活動しています。月に1度の昼読から始めて、昨年度は1、2年生の朝読も月に1度行えるようになりました。2学期からは3～6年生の朝読も始めたいと思っています。</p> <p>○古賀西小学校おひさま 月に2回、朝の時間を使って、各クラスに1名で、2～3冊の読み聞かせを行っています。</p> <p>○北中見つめるタイム ・月1～2回の各クラスでの読み聞かせ(8時30分～8時40分、各学年年間5～6回) ・活動後のミーティング 平成28年度より ・未就園児とその保護者対象の読み聞かせ「らっこクラブ」を月1回開催</p>	<p>○花見小まつぼくり 年々子ども達の聞く姿勢が出来てきた。まつぼくりタイムを楽しみにしてくれている子が多くなってきた。</p> <p>○舞小ぐるんば読み聞かせの会 子ども達の図書室利用の増加</p> <p>○花鶴小学校こんぺいとう 一緒に活動してくれる仲間も少しずつですが増えてきたので、選書以外での話し合いの場を設けることが出来ました。</p> <p>○古賀西小学校おひさま 古賀西小学校は読書習慣がついており、年間一人あたり100冊を目指しています。</p> <p>○北中見つめるタイム ・活動の定着 ・落ち着いた話が聞けていて、そのまま授業に入れる</p>	<p>○花見小まつぼくり 在校生の保護者の方にももう少し関心を持ってもらい、出来たら参加してもらいたい。メンバーが年々減ってきているので、加入の呼びかけに力を入れていく。</p> <p>○舞小ぐるんば読み聞かせの会 読み聞かせメンバーの減少の対策</p> <p>○花鶴小学校こんぺいとう クラス数が多いので、朝読の人数確保、また昼読は主に低学年が来てくれるのですが、給食時間が昼休みに食い込むことがあり、時間設定や本選びが難しいです。</p> <p>○古賀西小学校おひさま 母達のボランティアで行っています。朝の忙しい時間帯や、働くお母さん達が増えているため、読み手の会員が増えないこと。</p> <p>○北中みつめるタイム 「らっこらぶ」(毎月第4水曜日10時～10時30分)を始めたばかりで、参加者が少ないことです。告知の方法やリピーターを増やすことが課題です。</p>	<p>○花見小まつぼくり ・内容は毎年してきた事と同様の事をする予定です。 ・加入の呼びかけをします。在校生の保護者へのお便り配布(PTA総会時・来入児説明会)・地域の回覧板でのメンバー募集のお便りを配布</p> <p>○舞小ぐるんば読み聞かせの会 特になし</p> <p>○花鶴小学校こんぺいとう 朝読を3～6年生も始められるようになりたいです。楽しく活動ができるよう、これからも他校のボランティア活動の見学、研修会などしながら充実させていきたいです。</p> <p>○古賀西小学校おひさま これまでと同様、月2回の活動を続けていくことができればと思っています。</p> <p>○北中見つめるタイム 地域への告知ができるよう、回覧板でお知らせできないか検討中。</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
3 学 校	<p>3-3-(6) 広報活動の充実</p> <p>○教育活動を通して様々な本とふれあうことにより、子どもの読書への興味・関心を高め、読書習慣の定着を図り、読書力や表現力を育成していく。</p>	<p>○図書館だよりの発行(児童生徒向・保護者向・教職員向)</p> <p>○テーマ本、季節や学習にあわせた図書の掲示、新刊図書の掲示</p> <p>○図書館放送、ビデオ放送、</p>	<p>【青柳小】 毎月「としまだより」の発行。委員会活動はイベントごとに写真を撮り、FACEBOOKにアップしている。</p> <p>【小野小】 図書便りの発行や毎月季節に合わせた本の展示を行っている。</p> <p>【古賀東小】 読書・言語活動に興味をもたせるための掲示・宣伝に努め、「図書館だより」を通し、家庭・地域・学校の連携を図った。</p> <p>【古賀西小】 図書館だよりを毎月発行して、児童・保護者・職員に図書館の「今」を発信している。図書館行事のお知らせ、児童の様子、読書への啓蒙啓発などを載せることで、保護者にも図書館の様子を知ってもらうことが出来る。</p> <p>【花鶴小】 図書館だよりを月1回発行した。おすすめの本を紹介したり、多読者の表彰を行った。季節や行事に沿った展示も行っている。</p> <p>【千鳥小】 図書館だよりや校内放送による本の紹介により、本への興味を湧かせることができた</p> <p>【花見小】 ポスター掲示や図書だよりの発行、校内放送等、様々な方法を使って、読書活動に関する情報を提供することができた。</p> <p>【舞の里小】 季節や学校行事に沿った本を展示したり、図書館だよりで紹介することで、今まであまり手に取らなかった本にも興味をもってもらえるようになりました</p> <p>【古賀中】 図書館だよりやテーマ図書展示、環境づくり、図書委員会を通じて、生徒に図書館に来てもらうこと、読書興味をわかせることができた。</p> <p>【古賀北中】 図書館だよりやテーマ図書展示、環境づくり、図書委員会を通じて、生徒に図書館に来てもらうこと、読書興味をわかせることができた。</p> <p>【古賀東中】 毎月の図書館だよりの発行。 お昼の放送で、図書委員によるおすすめの本の紹介。</p>	<p>【青柳小】 子ども(図書委員)発信の広報が不十分なので、活動をもっとしていきたい。</p> <p>【小野小】 図書便りに関心がなく読まない保護者もいるので、保護者向けに読書に対する関心を高める研修、講演を行ったほうがよい。(例えば、子どもと読書について等の講演を学校教育課から)</p> <p>【古賀東小】 学校行事やPTA活動において保護者が読書に対し関心を高められるよう、図書だよりの発行、新着本の情報提供に努めたい。</p> <p>【古賀西小】 毎月の記事の内容を考えるのに時間がかかる。</p> <p>【花鶴小】図書委員からも自発的に広報活動をさせたい。</p> <p>【千鳥小】 さらなる広報活動の充実を図りたい</p> <p>【花見小】 高い教育の成果につながる活発な読書活動の取組を、より多くの対象に、積極的・効果的に発信するための組織的な応援体制が必要である。</p> <p>【舞の里小】 季節や行事ごとの展示スペースを工夫しながらも増やしていけたらと思います。</p> <p>【古賀中】 マンネリやその時期にあったものにするように気を付ける。図書委員とともってテーマ展示についていい所に作業していきたい。不読者がまだまだいる。</p> <p>【古賀北中】 マンネリやその時期にあったものにするように気を付ける。図書委員とともってテーマ展示についていい所に作業していきたい。不読者がまだまだいる。</p> <p>【古賀東中】 お昼の放送だと、音声のみになってしまい紹介が伝わりにくかった。図書館をあまり利用しない生徒へ対する広報の仕方に改善が必要。</p>	<p>○読書放送や図書だよりの発行、季節や行事に沿ったテーマ図書の展示、新着本の情報提供などにより、児童生徒に図書館の使い方や図書館資料の活用を促していく。</p> <p>○学校行事やPTA活動などにおいて、保護者が読書に対する関心を高めるよう努める。</p>

		事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
3 学 校	3-3-(7)図書館資料の充実	<p>○教育活動を通して様々な本とふれあうことにより、子どもの読書への興味・関心を高め、読書習慣の定着を図り、読書力や表現力を育成していく。</p>	<p>○図書館資料が質、量ともに充実するように予算編成をする。 ○学校図書館図書標準に照らし、蔵書構成を考えたが購入をする。また、蔵書冊数が基準を下回らないようにする。 ○教科カリキュラムに合わせた資料の充実、購入希望アンケートを実施し利用される図書の選択、心を豊かにする図書の充実を考える。 ○学習指導要領の改訂による資料の充実、古くなった図書の更新をする。</p>	<p>【青柳小】 教科書が変わった年度だったので、教科書掲載の資料を中心に購入を行った。また、随時子どもからのリクエストを受け、検討したのち購入をした。</p> <p>【小野小】 学校図書館基準をもとに資料の収集を行った。児童が学習に必要な資料はもちろん児童が読書の楽しさを味わえる図書の資料収集を行った。</p> <p>【古賀東小】 古賀市立図書館より「和の文化」「椋 鳩十」など計129冊の本を貸出していただき、個々に対し充実した授業となった。</p> <p>【古賀西小】 全職員を対象としたブックフェアを行い、調べ学習資料の購入を実施している。教師が選書するので学習に必要な資料を揃えることが出来る。司書部会で作成した「古賀市司書がおすすめする100冊」を購入することで、選書に偏りがなくなった。また、蔵書の配分比率に、注意しながら本を購入するようにしている。</p> <p>【花鶴小】 図書館の蔵書を把握し、計画的に購入を行った。</p> <p>【千鳥小】 司書だけでなく、司書教諭やほかの教職員の先生方へ選書してもらえたので学習に役立つ資料が増えた</p> <p>【花見小】 学校図書館図書標準の達成とともに、児童の利用実態に即した蔵書構成に近づけた。</p> <p>【舞の里小】 教師や児童への購入希望アンケート調査を行い広く意見を求め、年2回の図書購入時に反映させることで、学習・学級活動に必要な図書資料の充実が図れていると思います。</p> <p>【古賀中】 購入計画を基に計画的に購入できている。</p> <p>【古賀北中】 購入計画を基に計画的に購入できている。</p> <p>【古賀東中】 購入計画をもとに、教科書や教師、生徒のニーズに沿った本をそろえるようにし、読書推進や調べ学習促進につなげる。</p>	<p>【青柳小】 古い本も多いので、引き続き更新、買い替えを行っていきたい。</p> <p>【小野小】 資料の更新に努めていきたい。</p> <p>【古賀東小】 学校教育に必要な資料の配備を進め、計画的に蔵書の充実を図りたい。</p> <p>【古賀西小】 図書館の標準冊数を重視するために古い本の廃棄をすることが出来ない。配分比率に、かなり偏りがある。9分類の本をなかなか廃棄できない現状と学校が調べ学習に必要な資料の分類に偏りがあるため中々、比率に近づけることが出来ない。</p> <p>【花鶴小】 学校図書館図書標準冊数は達成しているが、蔵書が古かったり、分類に偏りがある。</p> <p>【千鳥小】 学年によっては時間の都合上、選書していただけないことがあり、資料の充実に偏りができた</p> <p>【花見小】 必要な図書館資料を維持していくためには、更新冊数分も含めて継続的な財源確保が求められる。</p> <p>【舞の里小】 理想の蔵書配分比率になるべく近づけるように、図書購入の際は気を付けたいと思います。</p> <p>【古賀中】 生徒や教員のリクエストを基に、偏らないようにする。分類ごとに良書がなかなかない分類もあり、難しい。</p> <p>【古賀北中】 ・分類別蔵書配分比率を見ても、まだ不足している分類があるので、充実を図っていく必要がある。</p> <p>【古賀東中】 本の更新を随時行っているが、内容の古くなった本がある。</p>	<p>○児童生徒の多様なニーズに答える図書、学校教育に必要な資料の配備を進める。 ○学習・情報センター及び読書センターとしての機能を果たすため、計画的に図書館資料の更新を行いつつ、蔵書の充実を図っていく。</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
3 学 校	3-3-(8)学校図書館の環境整備 ○教育活動を通して様々な本とふれあうことにより、子どもの読書への興味・関心を高め、読書習慣の定着を図り、読書力や表現力を育成していく。	○明るく、安全で、利用しやすい、また、親しみ易い図書館であるよう環境整備をする。	<p>【青柳小】 定期的に館内のポスターを張り替え、新鮮さを感じられるようにした。年中行事の飾りをし、季節を感じられるようにした。</p> <p>【小野小】 すだれをつけたり、トレリスをコンクリートの壁面につけ自然のぬくもりを大事にし、掲示できるように工夫した。</p> <p>【古賀東小】 毎月、季節の行事やその月の出来事、図書館のめあてを掲示、紹介することで一年の季節の流れを認識し児童の読書推進につながった。</p> <p>【古賀西小】 読書ボランティアと連携して環境整備をすることで、毎月の展示を充実することが出来た。統計、言葉遊びや詩、季節の展示などを行うことで児童の読書への意欲を向上することが出来た。また、図書資料を利用した学習成果物を展示することで、調べて発信することの楽しさを児童に伝えることが出来た。</p> <p>【花鶴小】 児童の興味を引く掲示物を作成した。(月ごとのテーマや行事)</p> <p>【千鳥小】 図書館を明るく、親しみやすくすることで児童が気軽に来るようになった</p> <p>【花見小】 教科書に掲載されている図書の展示コーナーや、読書感想文・読書感想画の図書コーナーを設けたり、配置を工夫して、本に興味をもてる環境を整備することができた。</p> <p>【舞の里小】 分類の棚の表示が分かりやすくなったことで、目的の棚に自ら行って探そうとする様子がよく見られます。</p> <p>【古賀中】 いつでも生徒が利用しやすいように、入りやすい明るい図書館を心掛けている。</p> <p>【古賀北中】 いつでも生徒が利用しやすいように、入りやすい明るい図書館を心掛けている。図書館外でも図書委員による掲示物を置いているので、図書館の外も明るい気がする。</p> <p>【古賀東中】 蔵書の整備や、職業についてのテーマに沿った読書コーナーを設置し、利用しやすいよう努めている。</p>	<p>【青柳小】 分類のサインなど、古くなった掲示物を新しくしていきたい。</p> <p>【小野小】 小野小は空調設備に扇風機はあるが、風が通らず2階は温度・湿度が上がりがやすく、暑いときは室温29、30度になるので読書に集中しにくい環境にある。</p> <p>【古賀東小】 毎年同じ掲示とならないよう工夫が必要。</p> <p>【古賀西小】 展示する場所が、多く毎月の内容を考えるのが大変である。</p> <p>【花鶴小】</p> <p>【千鳥小】 日常業務と並行して作成しているので、なかなか時間が取りづらい</p> <p>【花見小】 資料の劣化や虫菌害を抑制するためには、低温低湿で変動のない環境で保存することが望ましい。小学校図書館は空調設備が未整備のため、十分な環境とはいえない。</p> <p>【舞の里小】 スペースの関係上、児童があまり目につかない場所にある棚を今後はレイアウトを考えて利用しやすいように配置していきたいと思います。</p> <p>【古賀中】 その反面、騒いでもいいと思ってしまう生徒もいるので、対応をしっかりとしていきたい。</p> <p>【古賀北中】 その反面、騒いでもいいと思ってしまう生徒もいるので、対応をしっかりとしていきたい。</p> <p>【古賀東中】 百科事典など調べ学習用資料に古いものが多くあり、更新が必要</p>	<p>○児童生徒が、いつでも読んだり調べたりできるように利用しやすい快適な図書館の環境づくりに努める。</p> <p>○図書の配架・レイアウトなどを工夫し、明るい雰囲気づくりを心がけ、各学校の特色を生かした環境整備に努める。</p>

		事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
3 学 校	3-3-(9)読書感想文・読書感想画の取り組み	○教育活動を通して様々な本とふれあうことにより、子どもの読書への興味・関心を高め、読書習慣の定着を図り、読書力や表現力を育成していく。	○児童生徒が読書によって得た感動を絵や文章で表すことにより豊かな心を育て、表現力を養う。	<p>【青柳小】 課題・指定図書をすぐ注文したので、5月には子ども達に紹介できた。読書感想画には先生方が熱心に指導してくださって、多くの子ども達の絵が入選した。</p> <p>【小野小】 担任が課題の図書を読んだりして読書感想画に全校で取り組んでいる。</p> <p>【古賀東小】 全校生徒・職員分の読書感想文集「あおまつ」発刊し、学校全体で高い意識を持ち読書活動を推進している。</p> <p>【古賀西小】 読書感想文・読書感想画は、坦外の国語科の教師や図工科の教師に指導をお願いした。説明が、分かりやすく、楽しいため子どもたちは、苦手意識を持たずに取り組むことが出来た。また、読書感想画に関しては、夏休みに、職員研修を行い、より良い指導ができるようにした。</p> <p>【花鶴小】 読書感想画コンクールには毎年、全校で取り組んでいる。</p> <p>【千鳥小】 読書感想画は全校で取り組みができ、想像を絵に表現することができた</p> <p>【花見小】 読んだ本のイメージや感想を絵や文で表現することにより、読書に楽しみを感じることができた。</p> <p>【舞の里小】 読書感想画は、全校児童が取り組み、糟屋地区審査や県の審査で毎年多数の入選者を出しています。</p> <p>【古賀中】 読書をしたことにより得た感情を文や絵にすることで、読書への興味・理解は深まる。</p> <p>【古賀北中】 読書をしたことにより得た感情を文や絵にすることで、読書への興味・理解は深まる。美術部が感想画を出しているので継続させたい。</p> <p>【古賀東中】</p>	<p>【青柳小】 読書感想文については取り組みまで至らない。</p> <p>【小野小】 糟屋地区の教科等研、図書館教育の感想画コンクールと図工教育の児童画コンクールと重なっていて時間の確保が厳しい。</p> <p>【古賀東小】 児童生徒の資質向上のため学年に合わせた指導が必要となる。</p> <p>【古賀西小】 読書感想文に関しては、書いた後の指導が難しいため継続ができない。読書感想画に関しては、指導方法がわからないといわれる教師が多い。</p> <p>【花鶴小】</p> <p>【千鳥小】 読書感想文は、夏休みの宿題として出されるが、ほとんど応募がないため、感想文と同じようにクラスで取り組めるようお願いしたい</p> <p>【花見小】 読書感想文や読書感想画に取り組む時間の確保が難しい。</p> <p>【舞の里小】 読書感想文への取り組みが少ない状態なので、今後は増やしていけるよう取り組みたいと思います。</p> <p>【古賀中】 時間的にも感想文・感想画の取組みがほぼない。美術の時間や部活動、夏休みの課題等で取り組めるようにしていきたい。</p> <p>【古賀北中】 時間的にも感想文・感想画の取組みが少ない。美術の時間や部活動、夏休みの課題等で取り組めるようにしていきたい。</p> <p>【古賀東中】 取り組みを行っていない。</p>	○青少年読書感想画コンクール・西日本読書感想画コンクールへの応募を継続して行っていく。子どもが読書で得た感動などを絵や文章に表現することで、読書の楽しみ方・感じ方にふれさせ、読書への動機づけを図っていく。

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
3 学 校	<p>3-3-(10)親子読書会の推進</p> <p>○教育活動を通して様々な本とふれあうことにより、子どもの読書への興味・関心を高め、読書習慣の定着を図り、読書力や表現力を育成していく。</p> <p>○図書館 ・家庭読書の推進と普及を図る。 ・各小学校の親子読書活動の支援 ・親子読書活動の周知</p>	<p>○親子で読書を楽しむことにより、読書の幅を広げ、深めることができる。</p> <p>○図書館 ・校長会での趣旨説明 ・「親子読書のつどい」実施</p>	<p>【青柳小】 他校と活動することもでき、楽しく活動できた。</p> <p>【小野小】 読書の時間を楽しんだり、持てるように努めた。</p> <p>【古賀東小】 活動のはじめに当番の親子で読み聞かせを行うことで親子の絆を深め、また他の会員と安心して協力し心の成長を促す1年となった。</p> <p>【古賀西小】 ここ数年、他校と合同で親子読書会をすることで活動の幅が広がった。また、「親子読書のつどい」に参加することで、子どもが積極的にいろんな活動が出来るようになる。</p> <p>【花鶴小】 毎年20人近くの会員が集まり、親子で仲良く活動することができた。</p> <p>【千鳥小】 家庭での読書を越えた活動ができた。他学年との交流ができ、読書会以外でも仲良く図書館へ来るようになった。</p> <p>【花見小】 ・毎月、親子で本の紹介をし合うことで、読書の幅が広がった。 ・月の活動を通して児童同士、親同士のつながりができた。 ・古賀市大会に参加することで、児童が達成感を得ることができた。</p> <p>【舞の里小】 親子読書会では初めに絵本の読み聞かせをしてから始めています。親子で一緒に本の世界を楽しむことで、家庭の中でもより読書への関心が深まっていると感じます。</p> <p>○図書館 ・活動が独自に継続している ・各校で個別に読書の楽しみが広がる取り組みをしている ・児童が読書習慣を養っている ・共同で「つどい」を実施している</p>	<p>【青柳小】 会員を増やすこと。他校の子ども達ともっと交流できるとよい。</p> <p>【小野小】 子どもは読書会に入りたくても保護者が仕事をしていたり、時間を持ってない家庭が多く、親子読書の会員が減っている。土日で公共図書館での活動があれば、働いている家庭でも会員になり参加できるかもしれない。</p> <p>【古賀東小】 たくさんのアイデアが出ることは必要であるが、できるだけ「読書向上」に沿った活動が望ましい。</p> <p>【古賀西小】 土曜日開催のため、会員の数がなかなか増えない。平日開催にすると、いろんな子どもが活動を目にすることが出来るので会員は増えるのではないかなと思う。</p> <p>【花鶴小】 保護者が働いている家庭が多く、会員を増やすのが難しい。</p> <p>【千鳥小】 高学年になると習い事などで参加が難しい。また母が働いている家庭が多いため、入会したくてもできない児童が多い。</p> <p>【花見小】 ・会員減少の中、相互の関わりを深め、一人でも多くの参加を目指し、親子読書会の活動を検討していく必要がある。 ・伝統ある親子読書会を今後どのように引き継いでいくか考えなければならない。</p> <p>【舞の里小】 読書の輪を広げるためにも、今後は、会員以外の方が体験で参加できる機会なども設けていきたいと思えます。</p> <p>○図書館 ・家庭読書の推進を会員が理解し協力して活動にあたる ・会員が活動しやすいように助言や指導をする</p>	<p>○各小学校では、子どもを中心に家族と一緒に本を読み聞かせたり、語り合ったりすることを基本に、会員同士の交流によって、読書の幅を広げ、深める活動をしていく。家庭における読書活動の重要性を認識し、読書の活発化をはかっていく。</p> <p>○図書館</p>
	<p>3-3-(11)学校図書館地域開放</p>				

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
3 学校	3-3-(12)適応指導教室への支援 ○図書館 適応指導教室での読書活動を支援する  ○適応指導教室(あすなろ教室) 市立図書館蔵書の読書活動 ・主体的に書物を選び、借りる活動に取り組むことで読書に親しむ態度を養う。	○図書館 ・団体貸出  ○適応指導教室(あすなろ教室) ・平成24年度以前から取り組んでいる継続的な活動である。子ども達が学習に関わる書物や体験活動の参考となる書物、興味・関心を持つ書物を選ぶ場を設けている。 (月1回、100冊程度借用)	○図書館 貸出が伸びている h24-975冊、h25-995冊、h26-875冊、h27-495冊、h28-180冊  ○適応指導教室(あすなろ教室) ・常に教室に備えているので、学習時間や休憩時間に気軽に読書する習慣が身につくにつくつある。 ・市立図書館への移動の活動も大切な体験の場となっている。	○適応指導教室(あすなろ教室) ・特になし	○図書館 事業の継続  ○適応指導教室(あすなろ教室) ・今後も継続的に取り組み、活動のさらなる充実に努めたい。 ・自由読書の視点を大切にしながらキャリア教育に資する読書も推奨したい。 ・読書に基づく交流の場も無理のない範囲で設けたい。
3 学校	3-3-(13)高等学校における取り組みの支援 ○古賀竟成館高等学校 ・朝読書(平成12年～スタート) 生徒一人ひとりに対して、個別指導を行う中で、人としての感受性豊かな想像力豊かな人間形成の育成を目指して毎日朝読書を10分間続けています。  ○玄界高等学校 1 朝の10分間読書 8時45分～55分の10分間に生徒各自が用意した本を静かに読むことを通して、本に親しむ機会を確保して、豊かな情操を養い、感性や知性を磨く端緒とする。 2 図書委員による小学校訪問朗読会 子どもとのコミュニケーションやふれあいの中で、絵本の楽しさを感じ取り、生徒・児童が絵本に対する興味関心を高められるようにする。また、地域の人達や子ども達との交流を深め、図書委員会活動を通じて、生徒のボランティア活動や社会参加をすすめるなど、自主的・実践的な態度を育てる。	○古賀竟成館高等学校 本校の朝読書は、他校が取り組んでいる「朝読書」とは違い、文庫本を中心として指定図書(62セット)各50冊を所蔵しており、毎月各クラスの一人ずつに配付する。各月の本は年間でローテーションを組み、1年生には「読書に親しむ」という視点から小説を中心に選定している。2年生には「社会に目を向けた視野の広がるもの」という視点から随想や評論を小説以外に取り入れている。3年生には「進路を意識したもの」という視点から起業やアイデアといったバラエティーに富んだ本を選定している。 朝読書を取り入れた当初に比べ、毎月の読後感想文も生徒の個性が発揮されていて、新しい切り口や発想があり、とても読み応えのある感想文が目立つようになった。  ○玄界高等学校 1 朝の10分間読書 平成24年度～28年度は年間を通じて実施している。 2 図書委員会による小学校訪問朗読会 毎年度の夏季休業中及び冬季休業中に古賀市立小学校の学童保育所を2施設ずつ図書委員が訪問して絵本の読み聞かせを実施してきた。大型スクリーンにプロジェクターを通して絵本を映写しながら、感情豊かに表現する朗読を行っている。	○古賀竟成館高等学校 朝読書の10分間は、静かな朝の時間を迎えさせるための時間だったが、最近では生徒自らが進んで読書をしており、逆に時間が足りないと申し出る生徒が増えている。  ○玄界高等学校 1 朝の10分間読書 これまでの継続的な実践を通して、「朝読」の名で定着しており、図書館の貸出冊数の増加に一役買っている。 2 図書委員による小学校訪問朗読会 訪問朗読会の準備として図書委員が朗読の練習や企画・運営を通して自主的な活動を行う意欲が養成されている。また、子ども達との交流を通してボランティア精神が涵養されている。	○古賀竟成館高等学校 1ヶ月以内で読破する生徒数の増加  ○玄界高等学校 1 朝の10分間読書 「朝読」をきっかけとして読書に親しむ機会を増やしてはいるが、学年によって差異が見られる。 2 図書委員による小学校訪問朗読会 図書委員には要領をつかむことができるような指導や助言が必要である。	○古賀竟成館高等学校 このまま継続して学校が指定図書を買いたい揃えるにはお金がかかるが、生徒への効果を考えると現行の朝読書の活動を継続していく。  ○玄界高等学校 1 朝の10分間読書 図書館終礼などを通して生徒を図書館にきてもらい、直接本を手取る機会を設けることや、「図書館だより」や図書館報「温故知新」などを発行して新着情報など図書に関する情報を提供する。 2 図書委員による小学校訪問朗読会 今後も地道に図書委員への指導・助言を継続する。

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
3 学 校	<p>3-3-(14) 特別支援学校における取り組みの支援</p> <p>○福岡県立古賀特別支援学校(小・中等部) 春の読書週間・秋の読書週間 児童生徒の読書に関する興味関心を高め、情操を育成する。</p> <p>○福岡県立古賀特別支援学校高等部 読書週間(年2回)</p> <p>○図書館 子どもの豊かな読書に資するため、高等学校・特別支援学校との連携を深める</p>	<p>○福岡県立古賀特別支援学校(小・中等部) ・春及び秋の読書週間の実施 各チームごとに児童生徒の実態に合わせて読書を勧める取組をしている。 (チームごとの取り組み例) ・図書委員会が呼びかけて、読書感想文や読書感想画に取り組む ・絵本の読み聞かせや紙しばい、DVD映画会などを実施する。 ・古賀市立図書館の団体貸出しを利用し、期間限定のチーム文庫を設置する。 ・図書コーナーの利用の仕方について学習する。</p> <p>○福岡県立古賀特別支援学校高等部 ・校内図書コーナーの利用の仕方や本の取扱方について学習し、本に親しめるようにする。(春) ・古賀市立図書館より100冊の本を借り出し、臨時図書コーナーを設ける。臨時図書コーナーの本を生徒に貸し出したり、授業の中で読書活動を行ったりする。(秋)</p> <p>○図書館 図書館見学 インターンシップの受け入れ 団体貸出し</p>	<p>○福岡県立古賀特別支援学校(小・中等部) ・読書感想文や読書感想画に取り組むことで本をじっくり読むことができるようになる。 ・ボランティア等による絵本の読み聞かせを通して本に興味を持つ。 ・図書館・図書コーナーの利用が勧められ、利用方法を学習することで、利用マナーが向上する。</p> <p>○福岡県立古賀特別支援学校高等部 ・より多くの生徒が本に親しむようになった。</p> <p>○図書館 インターンシップを受入れることにより、図書館の利用方法や本を楽しむ場としての機能を知らせることができた。 h24-284冊、h25-318冊、h26-714冊、h27-433冊、h28-174冊</p>	<p>○福岡県立古賀特別支援学校(小・中等部) 教室数が不足しているため、知的障害教育部門には図書室がなく、落ち着いて本を読んだり借りたりする環境が十分に整っているとはいえない。 専任の司書教諭がない。複数の校務分掌を掛け持ちしているため十分な指導ができない。</p> <p>○福岡県立古賀特別支援学校高等部 ・近年の生徒増加により校内に設置すべき図書室を置くことができない。(教室の不足のため)</p> <p>○図書館 ・学校との連携 ・高校生の登録・貸出が少ない</p>	<p>○福岡県立古賀特別支援学校(小・中等部) 今後とも日常的に読書に親しむ機会を設けることを基本として、年2回の読書週間などにボランティアによる絵本の読み聞かせや子が市立図書館の団体貸出しを利用し、地域と協力・連携しながら、児童生徒の読書活動を推進していく。</p> <p>○福岡県立古賀特別支援学校高等部 過去5年間の活動を継続して行う。</p> <p>○図書館 事業の継続</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項	
4 図書館	3-4-(1)「おはなし会」「図書館まつり」の実施	<p>○図書館 本の楽しさを体感する上で非常に効果のある読書関連行事の機会を充実させることにより、読書読書意欲の向上に努める。</p> <p>○どうようおはなし会「こがめ」 古賀市立図書館どうようおはなし会ボランティア。</p> <p>○どうようおはなし会第3週「咲の会」 読み手と聞き手(おはなし会に参加する親子)がおはなしの世界を一緒に楽しみ、豊かな時間をともに過ごすことで子どもと本を結びつけるきっかけにすること。</p>	<p>○図書館 どうようおはなし会(毎週土曜日11時から30分) 子ども映画会(毎月1回) おはなし会スペシャル 図書館まつり めりえや読書クイズなど</p> <p>○どうようおはなし会「こがめ」 ・図書館「どうようおはなし会」での読み聞かせ、手遊び等。月1回第2土曜日11時～11時30分。こがめルーム。※図書館職員さんにも記録を保管してもらっています。</p> <p>○どうようおはなし会第3週「咲の会」 ・毎月第3土曜日11時～11時30分 古賀市立図書館こがめルームにてどうようおはなし会を実施。 ・各自何冊か用意してその日の子どもの年齢、人数、季節などを考慮し絵本を選び、その日のプログラムを組み立てています。</p>	<p>○図書館 継続しておはなし会などの事業を行うことによって、読書に関心のある親子の増加が見られる。 ・おはなし会では、父親の参加が増えている ・子ども映画会は上映回数を増やし、毎月開催できた。</p> <p>○どうようおはなし会「こがめ」 休館中にも臨時図書館で自主活動しました。楽しみに参加してくれる方がいました。</p> <p>○どうようおはなし会第3週「咲の会」 おはなし会に参加した子ども達の中でははじめはお話になかなか集中することが難しかった子が、徐々に回数(年数)を重ねることで集中しておはなしの世界に入ることができるようになってきた等、たくさんの子ども達の成長をみる事ができたこと。</p>	<p>○図書館 各行事の参加が、低年齢の子どもが多く、小学生が少ない。</p> <p>○どうようおはなし会「こがめ」 おじいさん、おばあさんがお孫さんと参加するときに、足腰の痛みがある方がいましたので、こがめルームに椅子を置くことにしました。</p> <p>○どうようおはなし会第3週「咲の会」 参加する子ども達の低年齢化</p>	<p>○図書館 ・事業の継続 ・行事内容の精選</p> <p>○どうようおはなし会「こがめ」 今のまま無理のないペースで続けてゆきたい。</p>
	3-4-(2)乳幼児と保護者への支援	<p>○図書館 ・子どものすこやかな成長を促す家庭での絵本のよみかかせのすすめ ・家庭での読書の支援</p> <p>○赤ちゃんおはなし会「びよびよ」 赤ちゃん(0歳児)へのおはなし会</p> <p>○小さい子のおはなし会「わにわに」 小さい子(1～2歳)を対象とした読書普及活動</p>	<p>○図書館 ブックスタート事業 赤ちゃんおはなし会の開催 小さい子のおはなし会の開催 乳幼児向け絵本のコーナー(赤ちゃんえほんコーナー)の設置 全国訪問おはなし隊の活用</p> <p>○赤ちゃんおはなし会「びよびよ」 ・平成 年 月1回のみで行っていたが、多数のため、平成 年 毎月1回→2回に分けてする。 ①11時～11時20分 ②11時40分～12時 ・平成27年9月～平成28年1月 図書館休館に伴いサンコスモ古賀すこやかホールで行う。</p> <p>○小さい子のおはなし会「わにわに」 ・第3水曜日11時～11時30分 図書館の小さい子のおはなし会で読み聞かせをしている。 ・年に数回、会員同志で、わらべ唄等の研修会を行なっています。</p>	<p>○図書館 おはなし会などに乳幼児を連れての参加が増えた。乳幼児から絵本にふれる機会が増え、よく親しみ慣れている姿が目につくようになった。</p> <p>○赤ちゃんおはなし会「びよびよ」 2回制にして赤ちゃん、保護者とゆったり読み聞かせやわらべうた遊びができるようになってよかった。また、臨時図書館中、場所を変えて、休みことなくできたことで、今まで知られていないお母さんにも参加してもらえたことはよかった。</p> <p>○小さい子のおはなし会「わにわに」 ・赤ちゃんおはなし会から引き続き来て下さる親子も多く、サンコスモで臨時のおはなし会をした時も大勢参加してくださいました。</p>	<p>○図書館 テレビや映画の影響を受けて、DVDめあて、キャラクターがのっている絵本、書籍を求めてくる親子も多い。家庭で読書するときにメディアとの付き合い方は避けられない問題。</p> <p>○赤ちゃんおはなし会「ピヨピヨ」 現在かかわっているボランティア同志のスキルアップ</p> <p>○小さい子のおはなし会 まだまだボランティア募集中です。</p>	<p>○図書館 ・乳幼児期の読書の効果を伝える ・親ががんばらない読書をすすめる。手遊びやわらべうたをすすめる ・絵本のよさを伝える</p> <p>○赤ちゃんおはなし会「ピヨピヨ」 現ボランティア同志と図書館司書との実習をかねた勉強会を継続すること。</p> <p>○小さい子のおはなし会 ・会員のスキルアップをしていきたいので、図書館で研修会等を企画してほしい。</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項	
4 図書館	3-4-(3)セカンドブック事業 (新規)	○図書館 0歳児のブックスタート事業に続いて、3歳児で継続して家庭で読み聞かせが行なわれるよう絵本をひとり1冊配付する。	○図書館 平成28年度から開始 ・3歳児健診を受ける子どもにセカンドブックの引換券を郵送する。(予防健診課に依頼) ・図書館やサンコスモこがの会場で説明と短時間のおはなし会を開き、絵本をわたす。		○図書館 ・事業の周知 ・対象者全員に配付すること。	
	3-4-(4)どくしょノート配布(新規)	○図書館 読書の楽しさを深めるひとつの機会として、図書館に親しんでもらいながら、読書活動の推進を目的としている。	○図書館 ・平成28年度新規事業 ・各小学校(1年生)におはなし会を行い、どくしょノートの使い方の説明後、ことちゃんがどくしょノートを手渡す活動を行なった。 ・大人向きの読書ノートも作成し、希望者に配布した。	○図書館 ・各小学校からの反応もよく、また来てほしいとの意見が多かったため、毎年行なっていきたい。 ・小学校との連携につながった	○図書館 ・実際の活用状況については、これから調べていきたい。 ・転入生にも手渡せるとよい。	○図書館 ・事業の継続 ・どくしょノートを配付後、図書館にどくしょノートを持ってきて、シールを希望する児童の姿が見られたので、各小学校まで行って、どくしょノートの説明を継続して行ないたい。 ・古賀特別支援学校の子どもたちへの配布を行なう予定 ・市民・児童(他学年)等にも広げていきたい。
	3-4-(5)特設コーナーの設置	○図書館 ・子どもの発達段階や興味関心、テーマによる特設コーナーを設けることにより、図書の利用の促進を図る ・子ども(10代)の知的活動を推進し、多様な興味・関心に応える	○図書館 ・12~18歳対象のYAコーナーの拡充 ・読書感想文課題図書・読書感想画指定図書コーナーの設置 ・関連図書の充実と隣接した閲覧スペースで、利用を促進	○図書館 YAコーナーを拡充することにより、読書に関心のある中学生・高校生の読書意欲を喚起し、より本を選びやすい環境を整えることができた。	○図書館 対象の利用が少ない	○図書館 事業の継続

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項	
4 図 書 館	<p>3-4-(6)子どもへの学習活動支援の充実</p>	<p>【青柳小】 調べ学習で足りない資料については、その都度チェックするようにした。</p> <p>【小野小】 いつでも子どもが調べられるように調べ方の掲示と資料を揃えることに努めた。</p> <p>【古賀東小】 RLP活動において研修を受けてきた児童が、研修の成果を発揮した。</p> <p>【古賀西小】 調べ学習に関しては、依頼があった時点で、必要な資料の内容、利用方法などを担任に確認し、資料を収集している。また、資料は、なるべくクラス人数プラス10冊以上を揃えてすべての児童に資料を手渡せるようにしている。</p> <p>【花鶴小】 担任の先生と連携を取り、図書館の資料を調べ学習で活用してもらうことができた。</p> <p>【千鳥小】 調べ学習で使われた図書や他校で使用されている図書は情報交換し合い、購入して資料の充実ができた</p> <p>【花見小】 市や県などの図書館からの団体貸出で、授業に必要な資料を一人一冊ずつ手渡すことができたので、充実した調べ学習の支援をすることができた。</p> <p>【舞の里小】 調べ学習でたくさんの本が必要な場合、古賀市立図書館の本が大変役に立っています。</p> <p>【古賀中】 生徒が英検・漢検・数検・歴検、面接や作文など勉強できる資料や、調べ学習に必要な資料を提供できている。</p> <p>【古賀中】 生徒が英検・漢検・数検・歴検、面接や作文など勉強できる資料や、調べ学習に必要な資料を提供できている。</p> <p>【古賀東中】 調べ学習時に資料の収集。 調べる時の本の探し方や、内容の見方などの支援を行う。</p>	<p>○図書館 子どもの読書活動を推進するため、学校への調べ学習資料の充実や、来館した子どもへのレファレンスサービスを行う</p>	<p>○図書館 ・学校への「総合的な学習の時間」などに 対応できる調べ学習のための図書館資料の充実 ・自由研究図書コーナーをはじめとした子どもへのレファレンスサービスなどの充実</p>	<p>○図書館 どの学校も教科を同じ時期に学習するため同時期に同じ内容を調べる子どもが多く対応に苦慮する</p>	<p>○図書館 事業の継続</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項	
<b>第4章 公共図書館等と学校図書館とのネットワーク化と子どもを対象とした読書活動団体との連携・協力(計画の柱2)</b>						
1 関係機関との連携・協力	4-1-(1)親子読書会への取り組み	○図書館 ・家庭読書の推進と普及を図ること。 ・各小学校の親子読書会活動の支援 ・親子読書活動の周知	○図書館 ・古賀市親子読書会事務局を務める。 ・校長会での趣旨説明 学校長の理解と協力を求める ・親子読書会担当者会の実施(年2回) ・古賀市親子読書のつどいの実施	○図書館 ・市内8校で活動が継続していること ・定例会を自主的に会員が行い、読書の楽しさを共有できていること ・読書習慣を養っていること	○図書館 ・各校での活動の維持 ・家庭読書の活動を推進していくこと	○図書館 ・家庭読書の周知、呼びかけ ・親子読書会のPR
	4-1-(2)地域文庫との連携	○図書館 身近に読書に親しめる場や機会を提供し、地域・家庭に根ざした読書の普及活動を行えるよう支援する。	○図書館 ・地域文庫連絡会(年2~3回) ・おはなし会スペシャル ・配本(年3回 200冊ずつ) ・大型絵本、パネルシアターなどの貸出 ・図書館や他の団体等で開催される読書講座や講演会等の情報提供	○図書館 ・地域文庫連絡会やおはなし会スペシャルの開催により、文庫間の交流が図られた。 ・継続した支援により、地域分庫の活動の充実が図られた。	○図書館	○図書館 地域文庫支援の継続
	4-1-(3)児童館との連携		○図書館 ・児童館への団体貸出し ・雑誌リサイクル寄贈 ・ブックリサイクル案内 ・子ども向け行事の案内			○図書館 団体貸出し及び情報提供の継続 優先的にブックリサイクルの案内を行う
	4-1-(3)子どもを対象とした読書活動団体への支援	○図書館 子どもを対象とした読書ボランティアの技術の向上や知識のための講座や研修会を開催し、子どもを対象とした読書活動団体等の活動の活性化に向けて支援する。	○図書館 ・団体貸出し ・読書ボランティア講座の開催 ・図書館や他団体で開催される読書講座や後援会などの情報提供 ・読書ボランティア交流会の開催	○図書館 ・継続した支援により、読書ボランティア団体の活動の充実が図られた。 ・読書ボランティア団体交流会の開催により、図書館やボランティア間の交流や連携が深められた。	○図書館 ・読書ボランティア講座の内容の精選 ・読書ボランティア団体交流会の内容	○図書館 事業の継続

		事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
1 関係機関との連携・協力	4-1-(3)子どもを対象とした読書活動団体への支援	<p>○古賀子どもの本の交流会 わらべうた・絵本・おはなし・子どもの本を子どもと大人と共に楽しむ 子どもの読書推進及び学習会</p> <p>○こが語りの会 おはなし会(ストーリーテリング、絵本、詩、わらべうた、本の紹介)古賀市内の小・中学校、特別支援学校、市立図書館 “人類の英知の結晶”といわれる昔話の中にこめられた人々の思いや祈りを子ども達に伝えること。又、人の声の温かさや言葉の心地良さを感じてもらうこと。</p> <p>○布の絵本「つくしんぼ」 布の絵本、エプロンシアター、タペストリーなどを制作して、子ども達、大人が動きがある絵本など作品に触れて楽しめるようにする。</p> <p>○古賀紙芝居サークルカチカチ会 紙芝居及び上演活動 古賀市、周辺地区の昔からの民話や伝説を知ってもらいたい。子ども達に生の声で紙芝居のおもしろさを伝えたい。 ・会員の生涯学習の充実 ・紙芝居作成、上演活動の充実 高齢者福祉、児童教育、文化活動の支援活動</p> <p>○布おもちゃ「とまと」 布絵本作成 ・幼児、高齢者、障害者グループへの貸出 ・サロン活動などでよりハビリとして使用してもらおう</p>	<p>○古賀子どもの本の交流会 (27年度) ・読み聞かせ活動 古賀市立図書館(月1回)西小、千鳥小(月1～4回)読書週間お話し会(小野小不定期)赤ちゃんお話し会(古賀北、花見東1、さや団地) ・子どもゆめ基金助成活動①子どもの本の愉しさづくり 科学教室②子どものためのお話し会③読書講演会 ・東北記録映画三部作上映①講演会(小野和子氏)②映画「うたうひと」上映③映画「なみのおと」上映と講話(宮園智子氏)④映画「なみのこえ」上映と講話と交流会(宮園智子氏)・研修会「月夜のお話し会」・定例会(毎月第1木曜日)</p> <p>○こが語りの会 ・青柳、花鶴、古賀西、千鳥、舞の里小学校でのおはなし会・古賀中、古賀東中で朝読み・古賀特別支援学校でのおはなし会 ・サンフレアこがの第一土曜日のおはなし会 ・小・中学校のリーディング・リーダー・プロジェクトの絵本の読み聞かせ、本の紹介の指導・勉強会・市図書館からの依頼による読書ボランティアスキルアップ講座の講師 ・大人のためのおはなし会(25年度、27年度)</p> <p>○布の絵本「つくしんぼ」 布の絵本作成 図書館の子どもの本コーナーに「ぐりとぐら」のタペストリー5作品制作しました。</p> <p>○古賀紙芝居サークル「カチカチ会」 福祉施設や学童保育、公民館で行われる地域の行事での紙芝居上演 ・月に3回ほど介護施設で上演 ・春休み、夏休みは学童保育で上演</p>	<p>○こが語りの会 ・子ども達がおはなしを聞くことを楽しみにしてくれている事。 ・紹介した本を子ども達が図書室や市の図書館で借りて読んでくれていること(司書の先生より) ・素晴らしい感性と集中力で、自らが想像したお話の世界と子ども達が入り込んでいると感じられること(語っているとき)</p> <p>○布の絵本「つくしんぼ」 布の絵本やエプロンシアターを制作できました。「ぐりとぐら」のタペストリー制作はメンバー全員がとつても頑張りました。</p> <p>○古賀紙芝居サークル「カチカチ会」 毎年上演した施設や学童保育からの再演依頼もあります。回を重ね演じ方(読み方)も上達しています。</p> <p>○布おもちゃ「とまと」 ・(27年度) ・月2回の活動 ・おもちゃ貸出 ・作成講座 ・仲間同士の交流、情報交換 ・諸イベントへの参加</p>	<p>○古賀子どもの本の交流会 ・久保保育園お話し会のための実習研修を行う。 ・外部講師を招き子どものためのお話し会をする(宮沢賢治の世界) ・科学への興味関心をもつために科学教室をする ・ブックトーク、科学遊びをする 以上を通して子育てに絵本の読み聞かせ、言葉のコミュニケーションの大切さを学び伝える ・赤ちゃん(マタニティー)の読み聞かせに始まり、低学年の読み聞かせ、科学読み物の取り組み</p> <p>○こが語りの会 会員も高齢といえる人が半数近くになってきたので、ひとりでも多く若い会員が増え、30年近く続いてきたこの活動が未永く継続すること。</p> <p>○古賀紙芝居サークル「カチカチ会」 会員が不足</p> <p>○布おもちゃ「とまと」 ・健康でボランティア活動ができるように月2回の活動を有意義に使う。 ・若いお母さんたちに手作りの楽しさ、大切さを伝えたい ・布絵本2冊を仕上げる</p>	<p>○古賀子どもの本の交流会 ・子どもゆめ基金助成活動(子どもの本の愉しさづくり) ①科学教室②子どものためのお話し会③読書講座 ・赤ちゃんお話し会 公民館(古賀北、さや団地、花見東1) ・小学1、2年生お話し会(古賀西小、千鳥小、小野小) ・子どもの読書週間お話し会(小野小:随時) ・図書館お話し会(毎月1回) ・定例会(毎月1回) ・研修会(随時) ・だじゃれ教室(未定) ・大人のための学習会支援</p> <p>○こが語りの会 ・30年間続いてきたこの活動を続けること。(青柳、花鶴、古賀西、千鳥、舞の里小、古賀中、古賀東中、古賀特別支援学校、サンフレアこがでのおはなし会を予定している。) ・講師を招いてストーリー・テリングの勉強会を予定(9月)</p> <p>○布の絵本「つくしんぼ」 新作の作品も制作する。</p> <p>○古賀紙芝居サークル「カチカチ会」 ・民話だけでなく、動物の話、感動する話なども取り上げたい。 ・会員を増やす。</p> <p>○布おもちゃ「とまと」 ・新しいおもちゃ作り ・28年度にでんでんむし(子育て支援課)の活動に布おもちゃ作成講座を取り入れられたので続けていきたい。</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項	
1 関係機関との連携・協力	4-1-(4)各小・中・高等学校との連携	<p>【青柳小】 足りない資料を相互貸借できてよかった。研修会では情報交換ができた。</p> <p>【小野小】 東中学校校区でPTA「ふれあいカード」実施日にお家で読書をするという項目があるので、子ども読書の日もPTA会長からの文書を出して、合わせて取り組みを行っている。公共図書館から必要な資料を借りている。</p> <p>【古賀東小】 相互貸借の整備を進め、資料センター・情報センターとしての機能向上を図った。</p> <p>【古賀西小】 調べ学習で資料請求があった時、他校の資料や図書館の資料を利用してより多くの資料を提供することができた。</p> <p>【花鶴小】 本の貸借を行った。</p> <p>【千鳥小】 リーディング・リーダー事業では、同じ中学校区での活動が多く、リーダー同士、図書館同士での交流や連携を取ることができた。</p> <p>【花見小】 教科の学習に関する本や、調べ学習に必要な本を他校や市立図書館より借りられるので、学校図書館では充当できない人数分の資料を準備することができ、充実した支援ができた。</p> <p>【舞の里小】 小・中学校間では授業に必要な本が足りない時の相互貸借や、また調べ学習で役に立った本の情報交換など様々な形で連携ができていますので、図書購入の際にもそれらの情報が大変役に立っています。</p> <p>【古賀中】 相互貸借のおかげで今すぐほしい資料等をすぐに取り寄せることができるので助かっている。図書館間の連携のおかげで幅広い資料の提供ができ、生徒の本に親しむ機会がより増えている。</p> <p>【古賀北中】 相互貸借のおかげで今すぐほしい資料等をすぐに取り寄せることができるので助かっている。図書館間の連携のおかげで幅広い資料の提供ができ、生徒の本に親しむ機会がより増えている。</p> <p>【古賀東中】 資料の相互貸借。 リーディングリーダーなどの読書活動時に、小中合同のビブリオバトルの開催。</p>	<p>○図書館 図書館の種別を超えてネットワークを作り、学校教育の支援と児童・生徒の読書の推進をはかる。</p> <p>○図書館 ・校長会での趣旨説明、利用の呼びかけ ・小学生の図書館施設見学受入 ・小中学生読書リーダー養成 ・中学生読書サポーター養成 ・司書研修会への参加 ・団体貸出</p>	<p>○図書館</p>	<p>【青柳小】 中学校での読書活動につながるように、同じ校区の中学校と連携した取組みができるとよい。</p> <p>【小野小】 「ふれあいカード」がPTAの取り組みなので教頭先生をパイプ役にしているが、あまり周知されていないので連携が取りづらい。「家読推進」等の共通目標を一つ古賀市で掲げていると連携しやすいと考えられる。</p> <p>【古賀東小】 学校司書間相互貸借の研修や情報交換、推薦図書の紹介など積極的な活動を行い連携を強めたい。</p> <p>【古賀西小】 どの学校も同じ時期に同じ資料が必要になるため、資料の確保が難しい。</p> <p>【花鶴小】 大量の本を相互貸借する必要があるため、物流のネットワークを早急に整備して欲しい。</p> <p>【千鳥小】 リーディング・リーダー事業がなくなったため、校区で話し合ったりする機会がなくなった</p> <p>【花見小】 児童によりよい図書資料を提供していくためには、相互貸借のための物流ネットワークの整備が必要不可欠であると考える。</p> <p>【舞の里小】</p> <p>【古賀中】 司書部会でも調べ学習に使いやすい資料など情報交換を続けていきたい。車がないので、たくさん相互貸借があるときは大変。</p> <p>【古賀北中】 司書部会でも調べ学習に使いやすい資料など情報交換を続けていきたい。車がないので、たくさん相互貸借があるときは大変。</p> <p>【古賀東中】 調べ学習の直前に資料の要求があり、相互貸借が難しいことがあるので、早めに打ち合わせをできるよう、先生方に呼びかけなければならない。</p>	<p>○図書館 ・連携をしやすくする。</p> <p>○図書館 ・喜ばれる図書館のアピール ・学校教育課指導係、司書教諭、学校司書と情報交換を増やす ・司書研修会への定期的な参加 ・連携について共通理解できるように文章化する。</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項	
1 関係機関との連携・協力	4-1-(5)障害のある子どもや来館できない子どもへの支援	<p>○図書館 障がいのある子どもや来館困難な子どもが、読書を通して視野を広げ、知識を得ることができるよう支援する。</p> <p>○朱鷺の会 なのみの里での紙芝居や絵本の読み聞かせ なのみの里に定期的に訪問し、仲間の方たちに紙芝居や本の読み聞かせを行って交流・親睦を図る。また、会員相互の親睦を図るとともに障がい者理解のための研修を行う。</p> <p>○古賀市障害者移動支援事業(福祉課) 屋内での移動に困難がある障がい者の外出支援を行うことで、地域における生活を支援し、自立や社会参加の促進を図ることを目的とする。</p>	<p>○図書館 適応指導教室「あすなろ学級」や特別支援学校等の児童生徒が、読書を通して視野を広げ、知識を得ることができるよう支援する。</p> <p>○古賀市障害者移動支援事業(福祉課) 障害者が、古賀市と契約を結ぶヘルパー事業所を利用し、社会生活上不可欠な外出や余暇活動等の社会参加のための外出の移動支援を行った。</p>	<p>○図書館 定期的に、各団体に貸出を行なっている。「あすなろ教室」の生徒は、来館し自ら借り資料を選ぶなどの活動もしている。</p> <p>○古賀市障害者移動支援事業(福祉課) 具体的な件数は把握していないが、本事業を利用して、図書館を利用する障がい者の方がいらした。</p>	<p>○図書館 個人で来館できない子どもへの支援</p>	<p>○図書館 ・事業の継続 ・生徒同士のコミュニケーションのツールや情報収集の手段として団体貸出しなどを行い、支援していく。</p> <p>○朱鷺の会 知的障害者入所施設「なのみの里」に紙芝居を中心に朗読会を開催し、 ・仲間の方々が喜んでくださる選書を心がける ・もっていった紙芝居を仲間の人達で積極的に読めるよう手助けをする。 ・紙芝居に限らず歌や演奏などのコラボを行ってより楽しい企画をする。</p> <p>○古賀市障害者移動支援事業(福祉課) 引き続き、移動支援事業を行い、障がい者の外出を支援し、地域における生活及び社会参加を促す。</p>
	4-1-(6)保育所(園)・幼稚園との連携	<p>○図書館 保育所(園)・幼稚園での子どもの読書活動の推進のため支援する。</p>	<p>○図書館 団体貸出し 情報提供 「こがめルーム」でのおはなし会の受け入れ</p>	<p>○図書館 貸出が伸びている h24-499冊、h25-760冊、h26-1,134冊、 h27-1,160冊、h28-520冊</p>	<p>○図書館 まだ、登録をしていない幼稚園や保育園がある</p>	<p>○図書館 事業の継続 新設した保育園が多く、子どもの発達や保育のねらいに応じて、一日の保育の中で絵本などに親しむ機械・場の提供に心がけ絵本活動の充実を図りたい</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項	
<b>第5章 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及(計画の柱3)</b>						
5 総合的な子どもの読書活動の推進	5-5-(1) 広報活動の促進	○図書館 総合的に子どもの読書活動を推進していくために、子どもをはじめ子どもをとりまく大人が、読書活動の重要性を改めて認識するように、啓発広報の推進を図るため	○図書館 「広報こが」「行事予定表」「図書館ホームページ」「こがっち」ポスター、案内文書などに掲載	○図書館 事業への関心を高めることにより参加者が増えた	○図書館 ・効果的な広報活動を行う ・広報やホームページに掲載するタイミングを見計らいながら実施	○図書館 「広報こが」「行事予定表」「図書館ホームページ」「こがっち」ポスター、案内文書などに継続して掲載
	5-5-(2) 「子どもの読書の日」の啓発広報活動	<p>【青柳小】 ポスター掲示、図書委員によるおはなし会を行った。</p> <p>【小野小】 4月23日の子ども読書の日により学校や教室での取り組みの広報活動を行っている。</p> <p>【古賀東小】 「とよかんサロン」(全校放送)にて、子ども読書の日についての放送をし、周知を図った。</p> <p>【古賀西小】 図書委員会で、「子ども読書の日」に関するお知らせを実施し、子ども読書の日の意味を伝えている。また、図書館だよりにより「子ども読書の日」に関する記事を載せたり、家読を実施したりして読書活動の啓発をしている。</p> <p>【花鶴小】 委員会の児童による「子ども読書の日」についての放送や、担任の読み聞かせ、貸出冊数を増やしたりしている。</p> <p>【千鳥小】 図書館だよりや放送、取り組みなどを通して、児童に広めることができた。</p> <p>【花見小】 少しずつではあるが、保護者の間に子どもの読書活動についての関心と理解を深めることができた。</p> <p>【舞の里小】 市立図書館での「子ども読書の日」に関する情報を、図書館前の掲示板に掲載したり、子どもたちにお知らせしています。</p> <p>【古賀中】 図書委員長の放送や図書館だより、館内外の展示などで、生徒も多少興味を持ってくれる。その時期はミニ読書週間を設けている。</p> <p>【古賀北中】 図書委員長の放送やボランティアさんの紹介放送、図書館だより、館内外の展示などで、生徒も多少興味を持ってくれる。その時期はミニ読書週間を設けている。</p> <p>【古賀東中】 図書館だよりにより「子ども読書の日」説明の掲載。 お昼の放送で図書委員による「子ども読書の日」の紹介。</p> <p>○図書館 子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行なう意欲を高める</p>	<p>○図書館 4月23日の子ども読書の日を中心におはなし会や読書講座、ぬいぐるみおとまり会、科学遊びなどさまざまなイベントを開催</p> <p>○図書館 毎年おおくの参加があり、親子で子どもの読書について理解を深めたり、関心を持つ良い機会になっている</p>	<p>【青柳小】 年度始まってすぐなので準備期間が短い。</p> <p>【古賀東小】 4月に設定されており、図書委員会の活動として限りがある。</p> <p>【古賀西小】 時期が、新学期が始まってすぐなので、じっくりと考えて活動することが難しい。</p> <p>【千鳥小】 家庭訪問の時期と重なり昼休みがないので、毎年取り組みを5月に実施している。</p> <p>【花見小】 「子ども読書の日」は、学校関係においては定着した感はあるが、未だ一般的には認知度が高いとはいえないのが現状。引き続き啓発広報活動を行っていく必要がある。</p> <p>【古賀中】 不読者にもっとアピール。読書の幅を広げられるようにしたい</p> <p>【古賀北中】 不読者にもっとアピール。読書の幅を広げられるようにしたい。</p> <p>【古賀東中】 特になし。</p> <p>○図書館 幼児の参加が多く、小学生が少ない</p> <p>○図書館 ・イベントの内容の精選 ・読書ボランティア団体の協力</p>		

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
5 総合的な 子どもの 読書活動 の推進	5-5-(3)「家庭読書の日」の設定	<p>【青柳小】 学校全体で取り組むことで意識づけができた。</p> <p>【小野小】 子ども読書の日からゴールデンウィーク5月中旬を家読実施計画として、企画して実施している。「お家で読書」を進めているが日・曜日を決めては設定していない。</p> <p>【古賀東小】 図書館だよりにて「家読」について啓発を図った。</p> <p>【古賀西小】 年に3回家読を実施している。ほとんどの家庭に定着してきており、家族で読書を楽しむことが出来ている。「わかったさん」シリーズを読んだ後、一緒に料理をしったりする家庭もあり、読書をきっかけに家族のつながりが深まっていると感じている。</p> <p>【花鶴小】 家庭読書推進のため、授業参観日は特別貸し出しを行っている。</p> <p>【千鳥小】 設定なし</p> <p>【花見小】毎月23日に家庭読書の日を設定しており、23日に本を借りる児童が増加している。</p> <p>【古賀中】 特に実施していない。</p> <p>【古賀北中】 特に実施していない。</p> <p>○図書館 「家庭読書の日」の周知と普及</p>	<p>○図書館</p>	<p>○図書館 「家庭読書の日」を設定することができなかった</p>	<p>【青柳小】 家読する時間を確保できない家庭がみられた。</p> <p>【小野小】 「家庭読書の日」は市を挙げて毎月何曜日等設定してもらえると推進しやすい。</p> <p>【古賀東小】 家庭での読書定着を今まで以上呼びかける必要がある。</p> <p>【古賀西小】 家族で読書をするのが難しい家庭もあるので、配慮が必要である。家族と読めていない児童は、自分だけの感想でも良いようにしている。</p> <p>【花見小】 低学年の頃から、塾や習い事に通う児童が多いが、家庭で読書の習慣を定着させたいと考える。</p> <p>【舞の里小】 今後は「家庭読書の日」を設定して、「うちどく」などの呼びかけも行っていきたいと思ひます。</p> <p>【古賀中】 図書館だよりなどで呼びかけ、実践していきたい。</p> <p>【古賀北中】 図書館だよりなどで呼びかけ、実践していきたい。</p> <p>【古賀東中】 取り組みを行っていない。</p> <p>○図書館 「家庭読書の日」を設定する措置を取ること。</p> <p>○図書館 「家庭読書の日」を設定する具体的な措置を取ること。</p> <p>○生涯学習推進課 家庭教育支援事業の一環として、家庭教育の啓発パンフ等を作成する際などに図書館と連携し、「家庭読書の日」についても啓発する取り組みを行なう</p>
	福岡県子どもの読書活動充実事業「古賀市中学生読書サポーター事業」の取り組み	○図書館 読書の大切さや面白さを子ども達同士で伝え合い、校内や公共図書館内で発信することのできる「中学生読書サポーター」を養成し、読書習慣の定着や読書環境の充実を図る	○図書館 平成28年からの新規事業。全3回の講座を行い、カウンター業務、フィルムコーティング、テーマ展示作り、POP講座などを行った。	○図書館 個人の技術として習得したPOP作成などの技術を使っていかに周囲に読書の楽しさを広げていく	○図書館 ・公共図書館内でのPOP及び展示コーナーの飾りつけの活動の継続 ・中学校に呼びかけ、中学生サポーターが各中学校図書館で技術を生かすことができるよう周知していく。

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
<p>5 総合的な 子どもの 読書活動の 推進</p>	<p>5-5-(5)学校職員等の取り組み</p>	<p>【青柳小】 6月に校内で図書展示会をすることで、職員の意識を高められた。どくしょがんぱりカードや20分読書の宿題などクラス内で取り組まれていたので、貸出冊数の伸びにつながった。</p> <p>【小野小】 教職員に図書館要覧作成後回覧したり、「先生おすすめの本」紹介をしてもらったり、図書購入の学校内選定を全教職員で行うようにしている。</p> <p>【古賀東小】 先生方のオススの本紹介掲示により、児童も読書への意欲が高まった。</p> <p>【古賀西小】 司書教諭による新聞学習授業、参考図書の利用指導授業後、新聞や参考図書を活用した授業を各担任が取り入れている。</p> <p>【花鶴小】 司書教諭を中心に先生たちと連携し、図書館や読書ボランティアと交流することができた。</p> <p>【千鳥小】 先生方におすすめの本を紹介してもらい、顔写真・紹介文とともに図書館前に掲示している。それを見て興味を持ち、本を借りにくる児童が多い。</p> <p>【花見小】 リーディング・リーダーを育成する上で、司書教諭や地域ボランティアと連携して、読書活動を行うことができた。</p> <p>【舞の里小】 司書研修会で、司書教諭・学校司書合同研修会があり、他校の現状や、様々な意見が聞けたのでとても参考になりました。</p> <p>【古賀中】 読書週間などで全職員におすすめの本を書いてもらい、展示・各クラスに冊子配布している。生徒は先生方の薦める本を読みたがる。</p> <p>【古賀北中】 読書週間などで全職員におすすめの本を書いてもらい、展示・各クラスに冊子配布している。生徒は先生方の薦める本を読みたがる。</p> <p>【古賀東中】 学校で選書会を行い、職員参加で選書を行う。 調べ学習時の図書館利用、指導。 朝読書の指導。</p>	<p>○図書館 児童・生徒の読解力を高める読書指導、 情報処理能力を身につけるための調べ学習を指導する学校職員への支援</p> <p>○図書館 ・校長会での利用のお願い、呼びかけ ・読書指導、調べ学習のための資料の貸出</p>	<p>○図書館 団体貸出が行われているが、どのように活用されているか不足があるのか評価をうけたことがない。</p>	<p>【青柳小】 学校全体で統一した取り組みまでには至っていない。</p> <p>【小野小】</p> <p>【古賀東小】 学校全体で読書活動の重要性を認識し、読書活動の活性化を図りたい。</p> <p>【古賀西小】 読書の推進は、教師によって温度差がある。</p> <p>【花鶴小】 委員会の日が出張と被ることが多く、司書教諭と話し合う時間があまりない。担任によっては読書を重視していない方もいるため、同学年でも、図書の回数が異なり、いつもそこが難しいと感じる。</p> <p>【千鳥小】 他の取り組みもしていきたい。</p> <p>【花見小】 司書教諭の取組時間確保のための時間軽減措置が取られていないため、司書教諭の役割が発揮できていない。</p> <p>【舞の里小】 学校内でもっと司書教諭との話し合いの時間が作れたらと思います。</p> <p>【古賀中】 学校・教職員全体で読書指導に取り組みたい。</p> <p>【古賀北中】 学校・教職員全体で読書指導に取り組みたい。</p> <p>【古賀東中】 調べ学習の直前に資料の要求があり、きちんと事前に準備や連絡するのが難しいことがあるので、早めに打ち合わせをできるように、先生方に呼びかけなければならない。</p> <p>○図書館 団体貸出が行われているが、学校内でどのように活用されているか不足があるのか結果がわからない。</p> <p>○図書館 ・司書教諭、学校司書が取りまとめた年間の調べ学習・読書指導計画に沿った資料の提供 ・司書教諭・学校司書と情報交換、連絡が取れるよう司書研修会への定期的な参加</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
5 総合的な子どもの読書活動の推進	5-5-(6)読書推進活動の奨励	<p>【青柳小】 県立図書館から借りた図書を学級文庫として教室においた。良書に触れる良い機会になった。</p> <p>【小野小】 福岡県学校図書館協議会の学校図書館コンクール奨励賞を平成25年受賞</p> <p>【古賀東小】 多く本を読んだ児童にしおりを渡し、読書推進を図った。</p> <p>【古賀西小】 地域ボランティア、保護者ボランティアを積極的に活用することが児童の読書の推進につながった。また、朝の活動で新聞学習、朝読書を取り入れることで知識欲、読書力がついた。</p> <p>【花鶴小】 特になし</p> <p>【千鳥小】 100冊以上本を借りた人を図書館だよりに載せたり、全校朝会で発表し、みんなの前で称賛したことにより、読書への意欲を持つことができた</p> <p>【花見小】 図書館を使った調べ学習コンクールに応募するなどの取組を行って、図書館での調べ学習に活気がでた。</p> <p>【古賀東中】 担任教員などを通して、長期休暇の前に図書館利用の促進を行った。</p> <p>○図書館 読書ボランティア団体のこれまでの優れた活動に対し表彰などを行い、永年の活動を称えとともに、今後の活動の意欲を高める。</p>	<p>○図書館 「古賀市社会貢献表彰」をはじめ、「読書活動優秀実践表彰」などに推薦する。</p>	<p>○図書館 (古賀市社会貢献表彰) ・H24 どようおはなし会ボランティア第3週「咲の会」 ・H25 星の子文庫 ・H26 古賀東小「ぐりとぐらの会」 ・H27 小野小「小さな野原の会」 (読書活動優秀実践表彰) ・H26 こが語りの会</p>	<p>【青柳小】 中学年のみだったので高学年でも実施したい。</p> <p>【古賀東小】 小学校高学年においては本の冊数よりも内容の充実を図らなければならない。</p> <p>【古賀西小】 読書推進は、学校全体で行うことが大切であるが、みんなが足並みをそろえることが難しい。</p> <p>【千鳥小】 あまり本を読まない児童への関わりも考えていきたい</p> <p>【花見小】 すべての子どもたちが多くの良書と出会い、読書を楽しむことで個々の生活がより豊かなものとなるように、様々な児童図書が整備される環境づくりを目指していく必要がある。</p> <p>【古賀東中】 読書推進のための、司書教諭との連携して活動する時間がなかなかとれない。</p> <p>○図書館 事業の継続</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項	
5 総合的な子どもの読書活動の推進	5-5-(7) 子ども読書活動推進体制の整備	<p>【青柳小】 担任外による朝の読み聞かせを行った。</p> <p>【古賀東小】 年数回の読書週間、ボランティアさんのおはなし会を行い、児童にとって学習、読書センターとしての機能は充実している。</p> <p>【古賀西小】 司書教諭が積極的に動くことで、教師との連携体制が整い、読書活動の推進につながった。また、地域、保護者ボランティアと司書の連携を深めることで読書推進の活動がスムーズにできた。</p> <p>【千鳥小】 一人一人に読書の記録を配布し、読んだ本を記録させた。学年ごとにおすすめの本も掲載し、学年に応じた読書も推進できた</p> <p>【花見小】 図書館との連絡体制をより強化し、互いに役割を補い合うことで、豊かな読書環境が提供できた。</p> <p>【舞の里小】 朝の読み聞かせの後、ボランティアのお母さん方に読んだ本の紹介などをさせていただき、今まで知らなかった新しい本との出会いや、また読んだ時の子供たちの反応なども聞けて大変勉強になっています。</p> <p>【古賀東中】 各学年ごとに、図書担当職員の配置。</p>	<p>○図書館 「読書ボランティア連絡会」を読書ボランティアの情報交換、講師招聘、実践発表などを織り交ぜながら継続して毎年開催している。</p>	<p>○図書館 市内読書ボランティア団体の活動内容の報告と情報交換</p>	<p>【青柳小】 学年に合わせた絵本選びの情報がほしい。</p> <p>【小野小】 「古賀市子ども読書活動推進計画」について、学校長から全教職員や保護者に回覧したり、学校からのお便りや市の広報などで周知されるといいと考える。</p> <p>【古賀東小】 教職員全体で取り組む姿勢が重要であり「読書集会」「研修会」を行い、指導力、技術力の向上に努める。</p> <p>【古賀西小】 地域のボランティアの活用は、予算が限られており、高学年まで利用するのが難しい。</p> <p>【千鳥小】 クラスでも読書活動の推進体制の整備を図りたい</p> <p>【花見小】 図書館にこない児童に、読書に興味・関心を持ってもらうためには、早い時期から本の魅力を感じてもらう必要がある。そのためには、図書館と協力して活動していく必要がある。</p> <p>【舞の里小】 読み聞かせボランティアの数が不足しているので、保護者の方だけでなく地域の方々にもご協力を呼びかけながら、今後少しでも多く楽しい本との出会いの場を作れたらと思います。</p> <p>【古賀東中】 特になし。</p>	<p>○図書館 毎年行っていることでマンネリ化しないようにくつろいだ雰囲気の情報交換ができるよう工夫する。</p>

	事業の目的	5年間の事業内容	5年間の成果	課題	今後の具体的な取組事項
5 総合的な子どもの読書活動の推進	<p>5-5-(8) 推薦図書を紹介</p>	<p>【青柳小】 先生方おすすめの本を掲示して、子どもたちの読書意欲につながった。</p> <p>【小野小】 「古賀市学校司書おすすめほんの紹介100冊」を平成28年3月に作成した。また「RLおすすめ本の紹介」冊子を平成24・25・26年度作成した。糟屋地区教科等研図書館教育で毎月交代に推薦図書を作成している。校内では新しく来られた先生のおすすめの本の紹介を作成している。</p> <p>【古賀東小】 発達段階に応じた「低学年」「中学年」「高学年」のおすすめ本リストを作成。図書購入基準となり、充実した読書センターとなった。</p> <p>【古賀西小】 学年に応じたおすすめの本リストの作成、読書博士の認定、おすすめの本や新刊を展示して子どもの読書意欲を向上させることが出来た。また、古賀市司書部会での低・中・高学年、中学生部門別推薦図書100冊のリストを作成が、児童の選書の手助けになっている。</p> <p>【花鶴小】 教科書に載っている本を中心にした学年ごとの「おすすめの本リスト」を配布した。いつもは手に取らない本を読むことができた。また、司書部会でもおすすめの本リストを作成した。児童の本選びの参考になっている。</p> <p>【千鳥小】 図書館だよりや図書館内で掲示したり、図書の時間に紹介したり、読書の記録にお勧めの本50冊を紹介したりして、推進できた</p> <p>【花見小】 ・古賀市おすすめの本リストを作成することにより、読書へのきっかけを与えることができた。 ・本への興味・関心が高まった。</p> <p>【古賀中】 中学生向けおすすめの本リストを昨年度作成したので、それを有効活用していく。</p> <p>【古賀北中】 中学生向けおすすめの本リストを昨年度作成したので、それを有効活用していく。</p> <p>【古賀東中】 中学生へおすすめ本紹介冊子「キミのための100冊」の作成 教科等研究会作成のおすすめの本の紹介の掲示。 展示コーナーに月ごとに推薦図書のテーマ展示。</p> <p>○図書館 子どもの発達段階に応じた図書の紹介</p>	<p>○図書館 ・「赤ちゃん絵本リスト平成20年」第2版、平成23年に第3版 ・ヤングアダルトコーナーの設置 ・夏休み自由研究の資料、課題図書・指定図書の紹介</p>	<p>○図書館 ・ブックスタート事業による効果があり、赤ちゃん絵本の需要が増えた ・ヤングアダルトコーナーの拡充、図書資料の充実 ・夏休み自由研究の資料、課題図書・指定図書の紹介により利用者が増えた</p>	<p>【青柳小】 継続して行いたい。</p> <p>【小野小】 苦労して作成した割には、司書おすすめの本紹介やRLの本紹介が全体的に周知されていない。本の紹介を利用した取り組みを行いたい。</p> <p>【古賀東小】 学習・情報センターとしての機能を向上させるため、学習で使用する本の紹介も必要である。</p> <p>【古賀西小】 どの本を推薦図書にするかの基準が司書だけなので、本の選書に偏りが出やすい。</p> <p>【花鶴小】 毎年新しい本が出るので、リストの内容を新しくしていく必要がある。</p> <p>【千鳥小】 児童には伝わっているが、なかなか保護者にまでは伝わりにくい</p> <p>【花見小】 作成したおすすめの本リストをより多くの児童、生徒に興味関心をもってもらえるように、紹介していく必要がある。</p> <p>【舞の里小】 読みやすい本に偏りがちなところがあるので、様々な分野の推薦図書のリストなどを活用しながら子どもたちの成長に応じた本との出会いを手助けしていきたいと思えます。</p> <p>【古賀中】 その都度良書に出会ったら、改訂していきたい。</p> <p>【古賀北中】 その都度良書に出会ったら、改訂していきたい。</p> <p>【古賀東中】 図書館内で掲示、保管しているものが多く、より多くの生徒にアピールできるよう対策が必要。</p> <p>○図書館 平成22年度から学校司書との連携が無くなり「小学生や、中学生お薦めの本」の紹介ができなかった</p> <p>○図書館 ・「赤ちゃん絵本のリスト」第4版の作成 ・ヤングアダルト資料、自由研究資料の見直し ・市内小・中学校の夏休みの課題を把握して資料の充実を図る</p>